（山形県立酒田中学校・酒田東高校同窓会東京支部会報）

東京亀城会会報

発行所
東京亀城会
東京都港区南青山5—9—12
アイサワビル　〒107
阿部鉄一事務所
電話　(400)　1151
郵便振替東京4—24020
発行人　河村　竜郎
編集人　佐藤　順陽
定価　1部150円

東京亀城会会報
——第三号発行にあたって——

東京亀城会会長　河村　竜郎

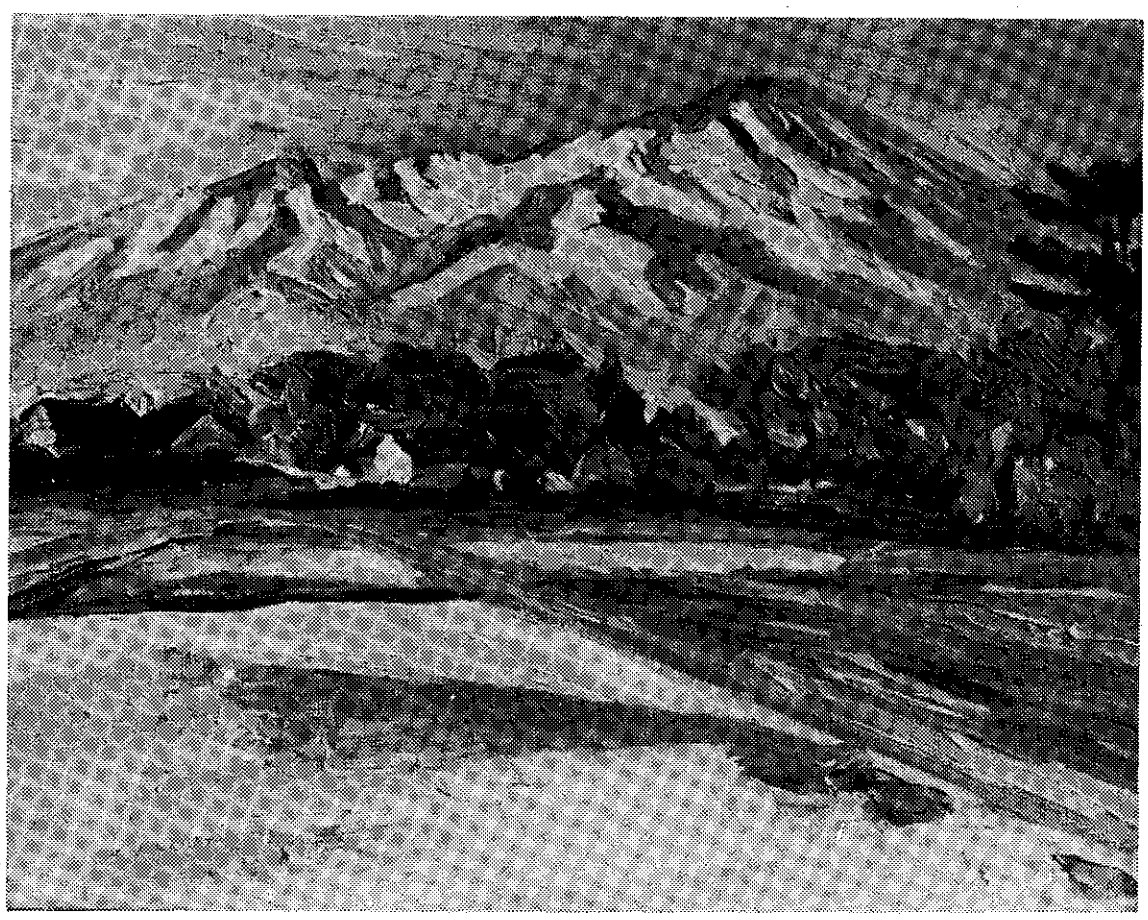
盛夏の候、みなさんにはますますご清祥のこととおよろこび申し上げます。

ここに東京亀城会々報第三号をおとどけいたします。同窓会は、酒田中学校、酒田高等学校、酒田東高等学校と名前は変っても郷里母校の下、本・支部とも10部近くにわかれ、東京支部はその数は在学生をふくめ一、七〇〇名以上になりました。各位の交歓、予備校生の激励あるいは在郷各関係先との協力などをやっておりますが、いかにしてその数を増大するかが問題であります。

われわれの同窓は、校歌に示す鳥海の虚空の黙示、最上の不断の勉学下の雄大剛健をむねとして、それぞれの教育、環境ならびに智恵は相異るといっても、総じて、立派な人間生活をすごすことが望ましく、本会もその一助にもなりたいと念願しております。

小生は化学技術に関連し約五十年以上になります。わが国の技術革新は、先輩諸賢の言のごとく、一九八〇年代を迎え、とくに導入技術に大きく依存しながら先進各国に追いつくことを念じているが、九〇年代にはさらに航空、宇宙、情報処理、新エネルギー開発、バイオインダストリーなど次世代産業確立に必要不可欠な基礎技術の研究開発が課題となっています。これらの基礎技術は各界の技術を総合結合することによって達成させ、その波及効果はきわめて大きく、次世代産業確立のほか、既存産業の高度化、資源エネルギー制度の打破、公害のない社会の実現、国際社会への貢献などに大きく関係するものと期待せられ、同窓各位の積極的な活動をお願いしてやみません。

みなさんのご健康とご活躍をお願い申しあげます。



田植えどき

酒田風景

佐藤昌祐

酒田風景を描きに昨夏と今年の五月リュックを背負った。山居倉庫は「おしん」で脚光を浴びたが、山居に限らず古い酒田は絵心をそそる所が多い。黒光りや紫赤に光る屋根瓦や黒べいと、松林の丘と櫛並木が一体となった所が、もっとも酒田独特でなつかしい。それに港や河川の水が加われば更によし。山居附近と日和山の周辺にそのような題材が多かった。鳥海は雄大すぎて眺めるには、どこからでもよいが、絵にするにはよい前景がほしい。五月の鳥海は、ほどよい残雪で変化があり、庄内平野も田植前で、水を張った水田が平面に変化を作り出しているので、一枚描いてみた。東酒田駅の土崎附近である。農村風景も此頃が、水面に影を映してよい画題。やはり黒瓦が光っていた。

佐藤昌祐油絵展（酒田）

東京では、春秋二回個展を開催している蒼駒会主宰者佐藤昌祐画伯（一三回卒業、東京美術学校卒、元山形大助教授、五十三年文部大臣賞受章者）が三十数年ぶりに本間美術館主催で郷里酒田で個展を開く。期日九月二十八日～十月十日第一会場本間美術館第二会場大沼デパート。

東京亀城会総会のお知らせ

昭和58年10月28日（金曜日）
午後 6：00より
会場　新宿サンエービル

☒詳細は10面にあります。

会報制作ご協力についての御礼

記事、広告その他取材ご協力に感謝します。
この会報の収入は東京亀城会の運営にすべてあてられています。

保険取扱医療施設

西佐倉病院
精神科・神経科・内科
医学博士　院長　池田　浩
（昭和三十三年卒業）
千葉県印旛郡印旛村岩戸
（印旛沼を望む高台）
電話　〇四七六（九九）〇二六二（代）

〈交　通〉
●電車 京成成田線臼井駅北口、木下行バス又はタクシー5分。当院送迎車が利用できます。
●車 16号線、横戸交差点又は下市場交差点を佐倉へ向い、臼井T字路を木下へ向う。船戸大橋を渡って、500m先の高台に見えます。

※西佐倉病院（170床）では、働らきながら資格のとれる看護学生を求めております。
正・准看護婦（士）数名、看護学生、男女数名（中卒、高卒、来春卒業見込みの方、寮有）

亀城提言

金子智一

私の生家は庄内平野の北端、遊佐町の字丸子で、酒田中学への通学には吹浦駅まで三㌔歩き、さらに酒田駅から二㌔、往復十㌔の道を五年間歩き通した。中学二年の時、二月の初めのことだった。夜明け前の庄内平野はうす暗く雪だけがぼんやりと白い。人っ子ひとり通らぬ白い道を母のつくった弁当をぶらさげて黙々と歩く。おかずのイワシの甘煮がいいにおいだ。村を出てから一㌔あまり。キツネに出くわした。「化かされる」と思った途端体中がわなわなと震えた。必死になって前を向いて歩いた。キツネが弁当をねらって弁当包みをツンツンとつっ突いた。汗びっしょりでようやく駅に着いてみると、風呂敷は穴だらけだった。私は野キツネを連れて雪の庄内平野を歩いたのである。この事件のあと、翌日かから三月末まで、母が隣村まで送ってくれた。その間、母はいろいろな話をしてくれた。

「智一、いいか、世の中では仕事は早くやったからといって誰も賞めやせん。どんなに時間をかけてもいいからいい仕事をするんだよ。人のためになることを……」

母の言葉はずっしりと私の胸に刻みこまれ、処世訓となって今でも時折り思い出す。私は、これより先、夏には鳥海山に登って一人歩きの楽しさを知り、冬にはキツネが縁で母と歩きながら、人と一緒に歩く充実感を味わったのである。

そして、中学卒業の時、斎藤重蔵先生に贈られたはなむけの言葉「青年とは夢みるもの の謂である。その夢は正夢でなければならない」に気を奮い立たせ、アルプス登山とインド独立運動へ私を向わせた。インド独立には寄与できなかったが、幸いインドネシア独立の一端を荷なうことができた。

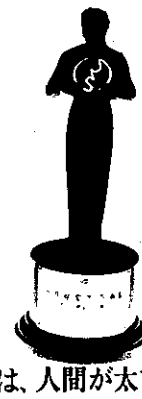
今、私は歩け歩け運動を通じて日本人の健康問題と真剣に取り組んでいる。健康は足から——であるが、日本社会は総クルマ化され、庄内平野も縦横に舗道が走り、歩く人は稀な存在になってしまった。足がなえると頭脳もおとろえる。ぜい弱化した日本人の体をきたえるには歩くことから始めるのが一番手っ取り早い。希望があれば歩け歩け全国大会を郷里で開いてもよいと考えている。

諸君、庄内平野を私と一緒に歩こうではないか——。

（日本歩け歩け協会会長）
（昭和六年卒業）

主な記事

平田前校長御急逝……二面
住宅購入の知恵……二面
岸洋子・成田三樹夫の対談……三面
酒田あれこれ……四面
同窓生思い出話……五面・六面
会員ズーム・イン……七面
あの先生は今（上野伊栄太先生）……八面
母校あれこれ……九面
亀城会だより……十面

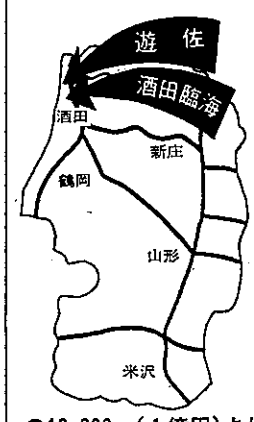


コンクリートは、人間が太古から探し求めてきた憧れの所産である。
営業品目／鋼管複合パイル—CSCパイル・高強度PCパイル—MASパイル・PCパイル・RCパイル・ヒューム管・PC製品・ボックスカルバード・L形ブロック・MUドレーン・MUグレード・水路・ベンチフリューム・道路用製品・矢板・組立橋・ブロック・その他コンクリート製品
コンクリート製品総合メーカー
前田製管株式會社
本　社／山形県酒田市上本町6—7　〒998
☎（0234）23—5111（代表）
支　店／東京・仙台・新潟・山形・秋田
営業所／千葉・宇都宮・水戸・郡山・盛岡・浦和・高崎・酒田・青森・札幌
出張所／水沢・横手・長野・八戸

いつも変らぬ新米の味
庄内米
ササニシキ

庄内米シンボルマーク
山形県庄内経済農業協同組合連合会
酒田市山居町二丁目3番8号　☎（0234）23—4111（代）
東京駐在所
東京都千代田区内神田三丁目5-5大同ビル　☎03（254）1456

酒田臨海・遊佐工業団地
進出企業をご紹介ください



■酒田臨海工業団地
所在地：酒田市宮海・古湊・林内地内
事業主体：山形県
総面積：4,053,143㎡
分譲可能面積：299,067㎡
分譲価格：14,200円/㎡
道路：国道7号線接
鉄道：国鉄羽越本線酒田駅3km
港湾：酒田港5万トン接岸
電力：酒田北港変電所（115,000KVA）
工業用水：90,000㎥/日
排水：使用水は各企業で処理
■遊佐工業団地
所在地：遊佐町大字蕨崎字夜明松
事業主体：山形県
総面積：951,563㎡
分譲可能面積：675,000㎡
分譲価格：8,500～9,000円/㎡
道路：国道7号線接
鉄道：国鉄奥羽本線遊佐駅4km
港湾：酒田港3km
電力：遊佐変電所（12,000KVA）
上水：1,000㎥/日
工業用水：10,000㎥/日
排水：使用水は各企業で処理
●10,000㎡（1億円）より分割できます。
●日本一安い地価、豊富で良質な労働力。
〈申しこみ、問い合わせ先〉
山形県東京事務所　担当　斎藤勉／佐藤光保
東京都千代田区平河町2-6-3（都道府県会館2階）☎03（265）5931（代）
●現地視察会（年2回）、東京での説明会随時実施。

総合商社
本間物産株式会社
東京支店
〒103 東京都中央区日本橋小伝馬町15番18号
日本橋SKビル
電話（03）639—9771（代）
支店長　齋藤昭一
（昭和36年卒業）
本　社　山形県酒田市本町1丁目2番55号
電話（0234）24—4511（大代）
●支店・営業所
山形・仙台・秋田・大曲・鶴岡
米沢・新庄・新潟・成田・六郷

平田亨前校長 御急逝

昭和32年ころの平田先生

七月二十三日午後九時、腸疾患手術のため入院中の酒田市中町本間病院で死去された。六十一才

先生は、遊佐町吹浦の生れ、昭和十三年三月酒田中学校を卒業、旧制山形高等学校を経て、東京帝国大学文学部印度哲学科卒業後、吹浦中学校で教職に就かれ、酒田東高には昭和二十八年四月一日より昭和三十七年三月三十一日までは職員として、昭和四十八年四月一日より昭和五十五年三月三十一日までは校長として、前後十六年にわたって生徒の指導教育に当られた。

この間、大学入学者の増加、新校舎、亀城園の完成、選抜高校野球での初申子園出場、新武道場の着工など、酒田東高を名実共に備わった一流進学校に育て上げた成果は大いに評価されてきた。

昭和五十八年四月の酒田市長選挙に出馬、準備不足のため、惜敗されたが、五月には酒田同期生との同級会にも元気で出席、今後の地方政界、文化面での活躍を期待されていただけに、多方面から急逝を惜しまれている。

七月二十六日自宅で密葬、二十九日午後一時半より酒田市相生町の妙法寺で葬会者五百名で佐々木金三酒田東高校長が葬儀委員長をつとめ本葬・告別式がしめやかにおこなわれた。喪主は妻マスさん。自宅は、酒田市高見台一ノ一六ノ三。

先生の思い出

小野徳次郎

私は非常識にも普通の生徒が担任教師に求める以上のことを先生に求めた。先生は実にゆきとどいた適切な処置をして下さったものだと思う。その一つは、「帝国石油奨学金」を何の制約もなく供与してくれるよう取り計らって下さったことであった。「庄内育英会」についても同様であった。これは日本育英会の奨学金も併せて、なんとか勉学に専念できる経済的基盤ができたのであった。それなのに先生がお持ちになったかも知れない期待には応え得ないままに今日の日を迎えてしまった。

学業に精が入らなかった頃、先生に宛てていろいろとグチを書き連ねた。ご迷惑だったでしょうね。先生。

先生（透流）の句を拝写して先生をしのびます。

農海山のかげの春陽や乱れ雲

（昭和三一年卒業）

松田実

その頃、先生は吹浦、十六羅漢の上、釜磯を見下ろす松林の中に住んでおられた。六畳の部屋に薄暗い電灯の光と虫の声があった。

「松田、男が何かやろうとする時はうこさべんするな。真っ直ぐ前を見て進め。吹浦は小さい。貧しい。しかし松田は大学に入れ。東京へ出よ。」

坊主刈りの眼がじょろりと光った。

「ばうじゃくぶじん。かたわらにひとなきがごとし。このことばは普通は悪い意味で使われる。しかし今の君は敬えてこのことばを生かし、人の考えない道を行け。」

右顧左眄、傍若無人、強く一字一字紙に書いていただいた。昭和二十七年、十四才の時であった。

工業高校を考えていた私は、先生の移られた酒東に学ぶことになり、まもなく東京に出て、作今、米国、欧州に行き交う仕事を与えられささかなりとも先生のお教えを生かし得たと思っている。

夏、先生のお宅のまわりにはひぐらしが鳴き、月見草が咲き乱れていた。先生の訃報に接した今日、今年初めてのひぐらしを聞いた。先生偲び、先生のご冥福を祈る。

（昭和三一年卒業）

平田先生と私

阿部昭吾

（昭和二二年卒業）

平田先生の突然の訃報に驚愕し我が耳を疑ったばかりであります。

先生とは三年あまりのお付合いで、その人となりに深く敬服し、数々の御啓示を頂いて参いりました。しかし、今春の酒田市長選出馬には反対し、選挙期間中も終始一貫して対抗して来ました。

選挙後、先生はしみじみと「あなただけには応援してもらいたかった」と申されました。私は「先生ほどの人が、私が今は決別した社会党や共産党に推されて市長選に出馬することは、どうしても賛成できなかった。私は今、ただ一人の郷土酒田の国政参加者として責任を果さなければならない立場にあるのです……。」と申し上げました。

先生は、「公（おおやけ）と私の厳（きびし）さ、難（むずかし）さか……。」と絶句なされました。その時のありさまが、あざやかに思い出されます。

先生は、末世に文武両道に秀でられた類（たぐい）まれなる我が母校の逸材であられました。私にとっては市長選のことがあっただけに先生の急逝は永く心に残ることになるものと思われます。

ともあれ、六十二才とは、まだこれからという年齢であられた、戦い半ばでという感しきりであります。ご心中察するに余りあり、今はただただご冥福をお祈り申しあげるのみであります。

（代議士・社民連国対委員長）

鶴翔・如松合同窓会

土田喜彦

去る六月五日、九段のグランドパレスで開かれた鶴翔・如松合同第二回同窓会に招待を受け、当会からも佐藤昌祐副会長、事務局の阿部錠一、および土田が出席しました。

毎年恒例で東京亀城会が開催されていますように、隣市鶴岡市でも東京で同窓会がもたれています。それが鶴翔同窓会（現鶴岡南高）と如松同窓会（現鶴岡北高）です。ともに永い伝統と古い歴史を誇る両校ですが、とくに鶴翔会は荘内中学以来の校風を引き継いでいる名門校です。現在、東京亀城会と鶴翔会は相互に交流し、会の開催に当っては代表を交換している現況です。

当日、会場は両会併せて五百余名の参集者でさしもに広いグランドパレスの大広間も立錐の余地なしの盛況。そこここにお国訛りがとび交い、懇親の実をあげています。まず女性に敬意を表して、如松会東京支部長のあいさつ、遠路はるばるかけつけた如松会々長のお話、北高校長の祝辞とつづき、次いで東京鶴翔会々長、鶴翔同窓会々長、南高校長のスピーチがありました。

また来賓として、鶴岡市助役さんがお祝いをのべられました。

なかでも目を惹いたのが、さきの第二次大戦中、東京都江戸川区の児童が鶴岡市に疎開したのが縁で、姉妹都市の仲を結んだ、江戸川小松の、江戸川小松流の太鼓の実演でした。

勇壮な乱れ打ちから、華麗な撥い打ちまで少年少女たちが流汗りんり、見事な技を披露して、会場を湧かせました。

また、同会が主催した、在校生絵画入賞者の表彰も併せて行われ、卒業生と在校生、先輩と後輩の強い絆を感じさせる一コマもありました。

とにかく、東京亀城会と比較して、合同同窓会であったせいもありましょうが、その規模の大きさにまず驚かされました。そして人脈結合、結束の固さも痛感させられました。

当会がせいぜい多く集まっても、百二十名前後、それが二百名を超す人員が集結するのですから……。

また如松会の方では高校だけでなく、出身小学校まで明記してあるのには一驚をきっしました。これも基本名簿が整備されているからでしょう。その規模の大きさと言い、人員動員力といい、会の構成、進行と参考になることばかりで、今後の亀城会総会運営にも、大いに参考にしなければと痛感した次第です。

鶴岡は城下町、酒田は商人の街、そんな気風の違いはあっても同じ荘内人、ライヴァル意識をもちつつも、協調して進むべきところは相携え、共に発展していきたいものと念じつつ会を辞しました。

（財務担当理事）

会員インタビュー

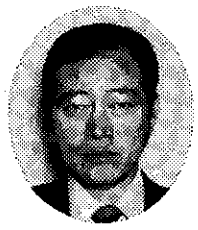
—第一回—

住宅購入の知恵

㈱鈴建工務店社長 鈴木藤男氏

（昭和三一年卒業）

首都圏には、第一回から本年卒業の五十八回生まで、四千人以上の同窓生が在住していると思われている。酒田周辺には、先祖伝来の土地、住宅を持っていても、東京附近にはほとんどの人が、あらたに購入しなければならない。東京圏内に永住しようと思う大多数の会員にとっては重大な関心事である。創業以来、国電、京浜、東北線、東武東上線、西部線沿線で約二千戸の建売住宅を販売している大手業者鈴建工務店社長鈴木藤男氏（昭和三十一年卒、酒田市添曽根出身）に聞いて見た。



—住宅というと、土地付一戸建と高層集合住宅つまりマンションがありますがどちらでしょう…

まず便利さを買うなら同一の金額ではマンションが良いと思いますね。でも二十三区内の足場の良い所ですと1DKでもう二千万円を越すところがあります。居住空間だけで住宅を考えれば、大変ぜいたくなものになりますね。もう郊心ですと1DKは希少価値が出て来てます。夫婦に子供二人くらいで快適な空間を求めようとするとマンションでなくて億ションだといわれています。

—財産としての価値はマンションの場合はどうでしょう……、

マンションの場合は、便利さが第一義で、財産性はその次になります。地下が急上昇を続けた四、五年前までは購入した金額より、利子以上倍もの値上りをした地価インフレは、もう来ないでしょう。従って快適に生活した分だけの目減りは当然と思わなければならないのではないでしょうか……。

—では一戸建の場合は……。

地上の建物は、やはり住んでいる間にマンション同様によほどのことがないかぎり値上りはしませんが、土地の方は、地域差はありますが、毎年必ず少しづつですが上昇しますので、特別な事情がない限り資産価値は下ることがありません。従って財産としては一戸建をおすすめします。

—では購入を考えている会員も多いことでしょうが、販売する方からいってどんな家をと考えておりますか……

私の会社は設立以来十一年目ですが理想の住宅ということをどういうように考えています。まず第一に住み心地が良いこと。第二に立地条件と生活環境に恵まれていること、次に施工と設備がしっかりとしていること、価格適性でかつ先きほどの将来にわたって資産価値のあるもの、以上の条件の一つでも欠けた場合は、理想の住宅とはいえないはずです。このことをお考えになって選べばまず失敗はないと思います。

—不動産購入というと普通の人ですと一生に一度か、せいぜい二度というので仲々決心がつきかねるんですが……

そうですね。無理もないと思います。知らない人に頼んでも今のような理想的な住宅が入手できる完全な保証があるわけでないし、色々と失敗例を お聞きの場合も多いと思いますので、気の置けない同郷の知人に話すつもりでご相談頂ければ、ご満足の行くようにしたいたいと思います。酒田東高の同級生にも、数件お世話いたしましたが、皆満足をしてもらっています。

今すぐに購入の予定がなくても「すずらん会」という団体に入って頂けば、最近の物件情報、住宅資金の作り方、購入予定のプランニングなど無料で住宅に必要な知識をお知らせするユースもあります。

—買い換えを考えている場合も相談に乗ってもらえますか……。

ここ数年の不動産取引は九〇%が買い換えといわれています。不動産を売った場合の価格や法律的手続きの不備であとに悔いを残す例が多いので、特に信頼のおける業者に相談ください。私のところも「価格査定委員会」を定設しており、適正価格や法律問題についてお知らせいたしています。法律問題は酒田東高同級生に顧問弁護士となって頂いております。

とにかく、私は同郷愛においては人後に落ちないと思っておりますので酒田東高同窓生の皆様の便宜は充分におはかりいたします。

（財務担当理事）

東京亀城会第二代会長
東京亀城会顧問
小松小児科医院
医師 小松直幸
（大正一五年卒業）
荒川区東日暮里三—二九—一二
電話 八九一—五四二六

衆議院議員
阿部昭吾
（昭和三一年卒業）
千代田区永田町 第二議員会館七二六号室
電話 五〇八—七四七六
酒田市東大町二—一—六
電話 〇三四（二二）七〇一六

山形県議会議員
斎藤辰夫
（昭和二〇年・二二回卒業）
酒田市相生町一—六—一三
電話 〇三四（二二）〇六九一

酒田市長
相馬大作
（昭和三三年卒業）
酒田市本町二丁目一四五
電話 〇三四（二二）五一一一

東京都板橋区議会議員
自由民主党本部同志会理事
大東淑徳学園評議員
明治大学校友会代議員
佐藤悦彦
（昭和二七年卒業）
自宅 板橋区成増四—二八—五
電話（九三〇）三二七一

日刊工業新聞社相談役
褒章クラブ会長
舞田
（昭和五年卒業）
千代田区九段北一—八—一〇
電話 二六三—二三一一

北郷耳鼻咽喉科医院
院長 北郷直克
（昭和五年酒中卒業）
〒232 横浜市南区通町一—二
電話 〇四五（七三一）五六三五

社団法人 日本歩け歩け協会会長
日本ユース・ホステル協会常任顧問
東洋医学国際研究財団副会長
金子智一
（昭和七年卒業）
世田谷区上祖師谷三—二一—一五
電話 四八三—二一〇八七

学校法人渡辺学園
東京家政大学内
有限会社家政相互会
傷害火災自動車保険部
曽根原重郎
（昭和八年卒業）
板橋区加賀一—一八—一
電話 九六一—五二二六
自宅 電話 〇四八四（七七）〇六四二

岸洋子・成田三樹夫
酒東時代を大いに語る

東京亀城会の会員で芸能界で活躍している人といえば岸洋子と成田三樹夫が双璧。しかも二十八年卒業の同期生とあってご両人の対談を企画していたが、超多忙の理由で仲々実現できなかった。このたび婦人公論のグラビア「昔のなかま」の写真特集ではからずも他の同期生たちと歓談、酒東時代の思い出に花を咲かせた。そのさわりを紙上収録すると…司会は同期で事務局の土田喜彦。（文責・佐藤順陽）

――まず思い出の先生から

成田　佐藤竹松先生（数学）だなあ。それにユニークだったのはカーペンター（菅原良吉先生＝英語）、和根崎正作先生（世界史）。よく叱られたのは小山松勝一郎先生（国語）で、漢文はどうも苦手だった。叱られたといえば遠縁にあたる鳥海俊士先生（数学）。とにかく授業に出ないで演劇部の部室に入りびたっていたからね。それでもいつだったか、小山先生から自著の「清河八郎」の本を送ってきてくれたよ。

（証言）彼は数学が得意で、僕と奇問難問の問題を出し合ってはこれを解くと十四万円もらえるとか、公式を作るとか競争をしたものです。（白崎和夫・東大助教授）

岸　わたくしは上野伊栄太先生（当時の校長）。東京芸大に入ろうと学校にもあまり出席しないで勉強しておりました。当時の酒田の文化水準からいえば、芸大に進むということは到底考えられませんでしたから、上野先生は寛大なおはからいをして下さいましたのでしょうね。出席日数からいえば卒業できなかったところを成績簿に3を付けてくれました。加藤千恵先生（音楽の師）とともに忘れることができません。勿論ほかにも忘れられないご恩を受けた先生が大勢いらっしゃいますが…

（証言）父は自分で楽器を弾いたし、姉が美大に進みたかったということもあって芸術関係にはいへん理解があった（上野朔・日本コカコーラ副社長）

――酒東時代から将来芸能関係に進もうと考えておられたんですか

成田　自作自演で演劇コンクールなんかに出演していたが、酒売にしようとは少しも考えてなかったね。俳優座の養成所に入ってからも思っていなかった位だから…。加藤千恵先生といえば、僕は音楽が全然だめなのに養成所を受ける時、音楽の試験があるというんで、先生にあわてて習いに行ったことがあったね。まあ、芝居は遊びと思っていた。

岸　クラシックの声楽家になろうと思ってはいましたが、いわゆる芸能界で生きようとは思っておりませんでした。シャンソンを唄うようになったのは声帯が変ったからです。ところで、あの頃は歌のうまい人がたくさんいましたよ。成田恒夫さん（酒田市教委）や長坂満さん（インドネシア石油貿易開発）とか。中学時代からNHKの音楽コンクールにはよく出ましたね。酒田は音楽、とくに歌は優秀よね。

成田　たしかにそうだね

（証言）小山（旧姓）さんの歌は抜群にすばらしかった。文化祭や学芸会などでよく「流浪の民」を歌うのを聞き、感激したものです。音楽の授業では彼女が歌うと、みんながかなわないので最後に歌わせようとしましたが名前の順番で歌うので困ってしまいました（田中陽子＝旧姓小島）

成田三樹夫さん

――ところで、ラブ・ロマンスがあったとか、青春時代の思い出は…

成田　ラブ・ロマンスというほどのことでもないが、好きな子はいたね。演劇部で「くもの糸」の脚色をした当時かなあ。同学年でスポーツをやっていた。いま酒田にいるみたいだよ。

岸　……

（証言）加藤千恵先生を中心とした音楽仲間はたくさんいましたが、芸大進学に一生けんめいで恋をするヒマはなかったのではないかと思う（一年後輩の本間充・新日本文化協会専務理事）

――今後の企画とか、なにかやりたい事は…

成田　まだ台本ができてないので公表できないが自主公演の企画をたてます。

岸　わたくしの半生記を書いた自伝的随筆集「さくらんぼの楽譜」を七月に出しましたが、成田さんは声もよいし、あなたを入れて寸劇ふうコンサートをやりたいわね

成田　それもいいな。

――最後に酒田にたいする要望は

成田　この間、土門拳記念館建設費の寄付が大分きたけれど、こういう類の寄付がしょっちゅうあるんだ。もう少しなんとかならないものか。特に分不相応なのが多いんで困る。

岸　わたくしも寄付はできる範囲のことはやらしてもらっているんですけれど、それが一つではありません。たいへんだという気がします。

（証言）酒田出身の有名人や財界人などで郷里と縁を切って同郷人と会わないという人がかなり多い。こうした風潮が災いしているのかも知れない。考えなければならないことである。かつて、母校の校舎の改築、プールの建設、体育館の施設整備の充実など、そのたびに寄付の請求が母校から来て、同窓会で問題になったことがありました。このため同窓会総会イコール寄付要請会などのカゲロがささやかられ、出席者が激減したことがありました。（事務局）

岸　洋子さん

＝岸さんのこと＝

阿部義弘氏談

スターを舞台で活躍させる什掛人が演出家であり、プロデューサーである阿部義弘氏（舎目出身二四回卒）は、芸能界では有名な演出制作の実力者だ。文学座、劇団四季の演出制作部長を経て、岸洋子カムバックの除の演出をした。

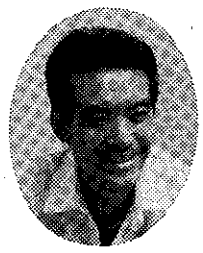
現在NHK大河ドラマ「徳川家康」の演出を担当、フラメンコ第一人者長嶺ヤス子のプロデューサー、又東京コマ劇場アップル・シアター・セールス・プロモーション室長として八面六臂の大活躍をしている。このシアターはブロードウエー・ミュージカルス東京版ともいうべきものでヤングを対象に現代の先端を行く演内外のタレントを呼んで公演の舞台を提供している。この実験劇場といえば次のように語ってくれた。「彼女が病後再起公演の話で会ったのが最初。私はその時浅利慶太の日本ネラルアーツの責任者をしていたが、浅利に彼女が舞台を見てもらいたいということから、つながりを深めた。そんな折彼女に感銘したのは、病気の時にシベリアから最上川に飛んで来た美しい白鳥の生命力に自分の姿をダブラせて希望を持って生き抜こうと決意したという新聞記事を読んだことでなんとか手助けしたいと思った。

第一回の再起公演は東京厚生年金ホール便だったが、一週間のロング・リサイタルは彼女にとって正に清水の舞台から飛びおりる思いだったろう。演出制作を担当していた私にとっても、必死の思いだった。

最近のNHKホールの公演を見たが、すっかり声もよくなって立ち直っていた。シャンソンが人生のヒダを歌うものであるとすれば、人生経験を経ないと本当に歌えないと思えるが、彼女もそろそろその資格をととのえて来た。

越路吹雪なきあとのこの道のエンターティナーとして大いに期待したい」。

うべき企画はわざわざ阿部氏のために設けられたというから、その実力のほどが知られよう。


阿部氏は岸洋子の出合いについ

会員著書

生きた写真のノー・ハウ
報道写真を撮る

若林　邦三　著
（昭和9年卒業）

「写真はすべて報道的要素を持つしという持論の前朝日新聞カメラマン、前全日本写真連盟事務局長として活躍、現在東京工芸大学講師の著者が、そのキャリアと教職という現場から見る人の心に訴え、感動させるような写真をいかに撮るかを解明している。

メカトロニクスなどの発達で、写真撮影は、昔のように特別な技術をほとんど必要としなくなった。シャッターを押せば、見た通りにとれる。しかし、その一枚の写真にふくまれた情報をより多く、より判りやすく伝えるのには撮す人が問題意識を持って撮れと具体例をあげ説明している「報道写真」を初め、スナップ、スポーツ、人物、風景、航空、組写真などジャンル別にその内容と、撮影のコツを懇切丁寧に指導されている。

「スポーツ写真はシャッターチャンスの一瞬前に、動きを見てボタンを押せ」など著者の三十余年の名カメラマンの方法論が随処に披露されているのは、アマチュア・カメラマンから、フホト・ジャーナリスト向けにとの意図が充分に生かされているといって良いだろう。

特に今まで、この種の本になおざりにされていた報道の自由と肖像権についての問題を一項もうけているのは注目すべきだ。

肖像権とプライバシーは近年マス・メディアだけの問題でなく、人権として重きをなして来ている。本書は憲法の「国民の知る権利」や、「報道自由」と肖像権の関連を説明すると共に、問題提起をしているのも著者の前向きの立場をしめしている。

一人一台といわれるまでになったカメラであるが、造り出す映像という情報の中でもっとも普遍的である写真を取りあつかった類書は多いが、一読して平易でありながら、報道写真という私達がもっとも親しんでいる記録性のある記号の本質を理解するには最適なものの一つであろう

（ダヴィッド社九〇〇円）

片山日本史の採録
語りべ日本の歴史 I

片山　丈士　著
（昭和11年卒業）

本名加藤健太郎、加藤清正の子孫であり「身は明星に似て」「加藤清正」「清正の治政」などの著者で清正研究家としても第一人者でもある著者の日本通史。

歴史小説、現代小説、戯曲や放送台本にと幅広い文芸活動をおこなう著者だが、近年、横浜市の歴史文学サロンや歴史散歩の会など六ヶ所で開催されている家庭主婦対象のゼミナール『片山丈士の日本史』の講義案を骨子に、語りかけ言葉で記述されているため理解しやすくなっている

千人を超すゼミナール受講者は大多数が、戦前の皇国史観一色の歴史教育を受けた人達と、戦後の日本史教育時代に学生だった人達であるだけに、まえがきにある通り歴史の骨格を伝えることに重点が置かれているが、特記したいことは、通説、一般論を紹介してはいるが、随所に著者の思想を解説していることである。ユニークな少数意見も、著者の暖い語り口で書かれると説得力があるのは、大格によるものであろう。

本書は全五巻のうちの第一巻で、旧石器時代から平城遷都まで、縄文、弥生、大和、飛鳥時代が収められている。女性受講者が興味を示めす女性指導者や女帝に紙面は多く使われている卑弥呼、神功皇后、推古女帝、持統女帝の人物像が、著者の推理によって浮き出してくるものは読み物としても楽しめる。

最終巻には年表が付くものと思われるが、各巻に分けてあれば、なお親切ではなかったろうか、また、読む人は気付かぬが、膨大な努力を必要とする事項別索引も、本書が基本書としての性格を持つだけに必要ではないかと思う。

過日横浜アカデミービルで開催された出版記念会は、「片山ギャル」ともいえる熱烈な女性受講者を中心に千人近い出席者によって盛大に開催されたが、一日も早く全巻の出版を望みたいものである。（かまくら春秋社・一八〇〇円）

西荻中央病院
院長　村上冨吉
（昭和九年卒業）
病院　杉並区西荻北二―五―五
電話　三九六―三一八一㈹
自宅　杉並区高井戸西二―六―三九
電話　三三三―九九六六

財団法人荘内館専務理事
富士通株式会社川崎病院
常務理事病院長　内山敬司
（昭和一四年卒業）
病院　川崎市中原区上小田中二三五四
電話〇四四（七七七）一一一一㈹
自宅　世田谷区中町三―一四―六
電話　七〇一―五二〇二

株式会社　梓設計
常務取締役　北村総一
（昭和一九年卒業）
品川区西五反田二―二七―三
電話　四九二―三五九一

粉末冶金製品―
含油軸受・機械部品
東北唯一の焼結金属工場
三友特金株式会社
代表取締役　高橋重雄
（昭和二四年卒業）
本社　目黒区上目黒一―三―九
電話　七一九―五四二一
遊佐町大字藤崎字茂り松一一―
電話　〇三四七（五）三三一一
山形工場　遊佐町大字北目字蟹塚七六―一〇
電話　〇三四七（七）三三一一
管野工場

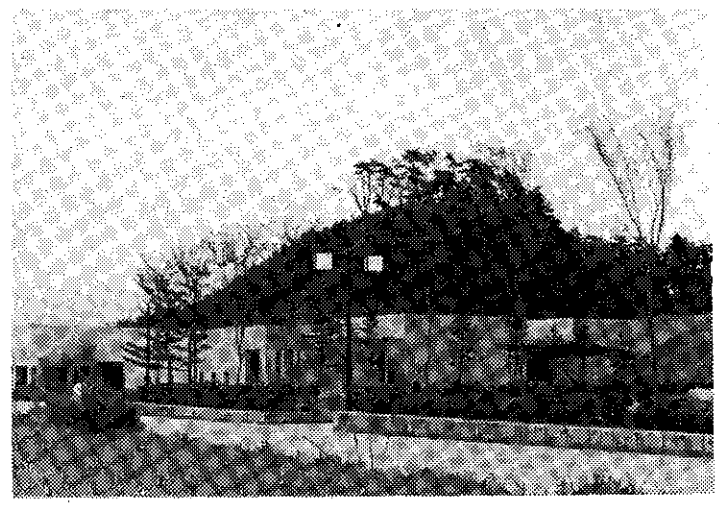
富士レビオ株式会社
（富士臓器製薬株式会社より富士レビオ株式会社に社名変更九月一日より東証二部上場）
常務取締役　佐々木猛
（旧姓　大場）
（昭和二五年卒業）
自宅　電話　三四八―〇六九一
新宿区西落合四―一七―二〇
電話　九五一―八二六一

佐々木整形外科病院
院長　佐々木章
（昭和二六年卒業）
東京都青梅市師岡町三―一九―九
電話　〇四二八（二四）一一九九

鈴木特許事務所
弁理士　鈴木淳也
（昭和二八年卒業
昭和五六年特許庁退官
審査官・審判官歴任）
事務所　文京区本郷三―二―一
お茶の水KSビル
電話　八二一―五九五五
自宅　千葉県我孫子市古戸三〇―四五
電話　〇四七一（八八）九四七九

日蓮宗慈観結社
教導　佐藤順陽
（昭和二九年卒業）
藤沢市高倉二二八―三六
電話　〇四六六（四四）七六二六
酒田市若浜町一六―一一考祥寺内
電話　〇二三四（二六）一五五〇

土門拳記念館 10月にオープン



酒田市が市制50周年記念事業の一つとして、飯森山につくっているカルチュアー・パーク（文化公園）の中心となる土門拳記念館が、10月にオープンする。

カルチュー・パークが36億円、土門拳記念館が8億5千万円合せて約45億円の事業である。記念館は、谷口吉郎建築設計研究所の建設々計で、建物は鉄筋コンクート造りで、一部2階建てで約1750㎡。内部には、展示室が2、土門拳記念室、視聴覚室、収蔵庫、資料閲覧室などがあり、内外一般写真家の作品展示や、地域の写真愛好者が初歩的な映像芸術を研さんしたり、写真工学を実地に研修できるような機能を備えた地域の拠点となる施設である。

相馬市長は、公園と記念館の二つを一体にして酒田の観光価値を高めることにした。土門拳先生は世界的な写真家なので、先生の写真を見るために、日本はおろか世界中の写真愛好家が大勢おとずれることを期待している。今年はちょうど酒田市制50周年にあたるので、酒田では各種の催物を行っているので、是非東京亀城会のみなさんもおいで下さるようにといっている。

なお、土門拳記念館建設の募金を募集をしています。一口5000円で目標額は一億円だが、まだ目標金額に達していないので、是非、有志の賛同を賜りたいとのことである。

◇寄付金の宛先

土門拳記念館建設期成同盟会
山形県酒田市役所内
〒998酒田市本町二丁目一四五
TEL酒田（0234）22－5111（代表）

この寄付金に対する免税措置は次のようになっています。

一、個人の場合
免税申告は、期成同盟会指定の郵便振替払込金受領証（酒田市収入役）または、直接持参および直送の場合における酒田市収入役の領収書を確定申告の際に添付し、手続きをしていただくことになります。

二、法人の場合
寄付金の全額がその事業年度の損金に算入されます。

企業誘致の最前線で

斎藤　勉

酒田を地盤にしたユニークな新聞「コミュニティ新聞社」の基礎作りを終えて最近帰京した池田教一郎氏に酒田の生々しい実情や問題点などを突っ込んで聞いた。二年近くも酒田の隅々まで取材して歩いての報告だけに傾聴すべき話が多い（事務局）

◇東京にお戻りになって、酒田についてどう思いますか。

この6月にコミュニティ新聞社をやめるまで、約一年8カ月間滞在してきました。短かい期間でしたが、市民のいろいろな人々に接し、酒田の現状や将来について、ともに悩み論じました。ちょうど、私がいた時期は、酒田が最悪の不況を迎えた時で、住軽アルミの撤退、大火後の中心商店街の不振、また、これからの酒田をどうもっていくかという大きな政治課題になった統一地方選挙などに遇い、大変勉強になりました。

◇酒田の不況の実体はどうなんですか。

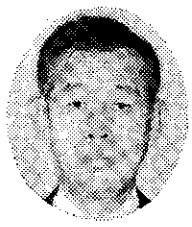
不況は予想以上に悪く、東京や仙台などから商売にやって来た人達は、ひど過ぎると言ってましたね。私も新聞という商売柄、親しくなった人達に、商売替えしたいけれど、何かいい商売がないかと、就職口がないかなどの相談をしばしばうけました。どこそこの店が閉じたとか、倒産したなどの話は絶えませんでしたね。

人口10万以上30万までの都市で、前年対比の商業活動が落ち込んでいる都市のワースト5に酒田がはいっている（日経流通新聞6月）ことや、酒田の企業の6割以上が赤字経営であることなどが、不況を如実に物語っていると思います。

◇酒田の経済がこれほどまでに悪くなった原因は何だと思いますか。

酒田大火の後遺症、住軽アルミの撤退、北港背後工業団地の企業誘致の難航、港の不振、稲作の冷害、高速交通網の立遅れなどがあるようですが、それ以前に大きな原因があったのではないかと思います。

酒田は昭和30年代まで、山形県の中でも特に裕福であったために、戦後、何もしてこなったのではないかと思います。不幸にして、大火後にいろいろなことが重なって起きたためにツケが廻ってきたという感じですね。例えば、庄内空港などは、43年ごろに県が庄内に対して、お作りなってはどうですかと言って調査費まで計上しているんです。先見の明がないので、当時地元の人々は無視しているわけです。いま、不況になり、あわてだして、企業や大学が来ないのは、交通が悪いからだ、"庄内島"になるなどの大騒ぎしている訳です。九州の熊本や鹿児島などでは、20年前から運動をして、今日立派な空港ができ、エレクトロニクス関連の企業が続々と進出しているのをみますと、先見の明のある人がおったならという感じがしますね。



戦後最大の危機

酒田をいまどうするか

池田教一郎氏に聞く

◇地元での庄内空港の動きや地元の人々の考えはどうなのですか。

ようやく県から調査費がでて、3年間の気象調査が始まりました。庄内空港の場合は、10年以上先になるわけです。こんなことを言うと、酒田では袋たたきになりますが、私は現状では不可能だと思います。酒田市民の多くもそう思っているのではないですか。どうも、酒田は建て前論と本音が多くて、空港に対しての本音を言うと反対だととられますから。

航空会社はいまみんな赤字でしょう。空港を作るにしても、背後に百万人の人口がないとさい算が取れないそうですよ。運航するのは民間の航空会社ですからね。それから、山形空港とのかねあいはどうなるのでしょうか。庄内の人も、相当山形空港を利用していますからね。庄内に空港ができたら、山形空港もサイ算が合わなくなる可能性があるわけです。それだから県も積極的にならないようです。

私の個人的な意見を言わせてもらえば、もっと現実的な方法を考えた方が良いと思います。新潟と佐渡、羽田と大島のように庄内と山形空港にセスナを飛ばしたらどうでしょうか。庄内三郡と地元の経済界で、第三セクター方式の庄内空港公社のようなものを作り運営したらと思います。東京へ行く国鉄は益々荒れを除けばガラガラなので、航空機を飛ばしても庄内は人口33万人だから、どの位利用者がいるか、答えは自ら出てくるのではないですか。この考えは、地元に、多くおりましたね。

◇酒田市内の交通体系が非常に悪く、それが商店街不振にも影響を与えているのではないかとの話をよく聞きますが、どうなのですか。

おっしゃる通りです。私は、この4月に免許をとり3カ月間で3000Kほど走り廻りましたが、走りにくいですね。ましてよそからくる人はなおさらだと思いますよ。

バイパスから市内に通る道路が少なく、朝晩は大変混雑するので、バイパスを通る車は酒田に入りにくいと言ってますね。旧国道7号線を拡げて、バイパスを作らなければ、もっと市内にお金が落ちているんではないでしょうか。そうすれば、モールなんかも生き返っていると思いますよ。ようするに、結果的にはバイパスは車の追い出しになっているわけですからね。

◇酒田はおしんブームだそうですが、観光的にはどうですか。

NHKのおしん、西部警察のロケなど、テレビの影響は大きいようです。観光客もボツボツ来ているようですから、この際大いに便乗して利用すべきだと思います。

酒田はもっと観光に力を入れPRをすべきだと思います。昨年の紅花路山形の国鉄の旅行キャンペーンでも、旅行会社のパンフレットの地図に、酒田、飛島、鳥海山が載っていないので大騒ぎになりましたが、これなどは普段の努力がたりないからだと思います。せっかくのチャンスに乗り遅れたわけですね。米や魚がうまく山菜も豊富なので、結構、観る所もあるもので、世の中暇な人も多いようだから、こんな不便な所でも宣伝のしようでは人が集まるのではないだろうか。

産業がだめなら、とりあえずは観光に力を入れるほかはないように思われる。東京でよく言われるのですが酒田は秋田県にあると思っている人が多いようだから、観光的に有名になれば、酒田も全国的に知られるようになり、工業団地の企業誘致ももっとやり易くなるかも知れない。

◇酒田の活性化についてどうですか。

今年の統一地方選挙では、市長選を始めどの選挙でも候補者が酒田の活性化ということを訴えていましたが、具体的にはどうもはっきりしなかったようです。

酒田の活性化ということについて言えば、結局人材ということになるんだと思う。企業にもライフサイクルがあり、老化現象を防ぐためには他人の血を入れ活性化しなければならないように、都市も全く同じであり、酒田はいま正に斜陽都市であり、老化現象が著しくなっていると思います。

江戸・明治時代には、酒田の商圏は仙台、盛岡、福島に到る東北一円まで拡っており、江戸はもちろん京阪からも大勢の人々がやって来、また住みつき、それによって酒田の人々は多くの刺激や知識を得たに違いないと思います。現在はどうでしょうか、たとえば商店街はどうでしょうか。二代目、三代目になり、かつての進取の気風は全然なくなっているようです。流通革命の対応に遅れをとり、ひん死の重傷になっているようです。庄内空港も工場誘致も、商業の振興も、大学の誘致も、県立病院の誘致も、それぞれに問題をかかえているようです。それを解決するためには、酒田は有能な人材を招聘する必要があると思います。酒田の政財界にも、酒田のあらゆる機関に今こそ他人の血を入れる必要があると思います。

（昭和二九年卒業）

今や国民栄誉賞ものとまでさわがれながら、人気をひとり占めしているNHK朝のテレビ小説「おしん」で始まる毎日が続いている。大江町、尾花沢市そして酒田市周辺を舞台に放映が繰り広げられた「おしん」は、山形県の存在を全国に紹介しながら、米問屋の加賀屋をはじめ山居倉庫、日枝神社、日本海庄内浜の風景等をとおして酒田地方の風土、人情豊かな市民性が画面のすみずみまでにじみ出るものが感じられた。

酒田市職員である私は、今年四月から山形県東京事務所の一員として勤務することになり、ふるさとを遠く離れて生活することによって、ふるさとの良さについてもじっくり見つめてみる良い機会であると思っている。進取の気質と人情味豊かな市民性は、今でもどこに出しても立派に通用するものであり、これからも大事に持ち続けたい一面であると思う。

酒田地方を見わたしたとき、特に経済的にもきびしい環境の中にあるといえる。世界的な経済不況の波をもろに受けてやむを得ず解散に至った住軽アルミの例をはじめ、日本の戦後四番目といわれる酒田大火被害の後遺症、それに周辺各町の農家収入にかなり依存している酒田の経済は、これまで豊作であった庄内米がたまたま平年作まで落ち込んだ減収のあおりも見のがすことのできない不況要因であると思われる。このように、全体的な波及マイナス効果でこれまでに体験したことのない苦しい時期を迎えていることも事実であるが、一方では、一次、二次オイルショックの経済不況の苦しさをわりかし知らずに過してきたといっても過言ではないと思っている。

その理由はどこにあったかといえば、一つは、五万トン港湾を築港する北港地域開発の効果であり、二つには、すでに会社解散してしまったけれど住軽アルミの立地に伴う各般にわたる効果である。当時オイルショック関連の企業倒産が相ついだ波は、この北港地域開発建設関連工事中の経済波及効果によって防衛できたこと、市の工業出荷額等が一、〇〇〇億円台にのしあがったこと、四〇〇人を超える地元出身従業員の雇用の場の創出がなされたことなどがあげられる。

酒田市は今年四月、市制施行五十周年を迎え、その式典が盛大に開催され、これから一年間にわたって各分野において記念行事が展開される。土門拳記念館開館式典（十月）、最上川自作舟下りレース（七月）、百年後へのメッセージを託すタイムカプセル埋設事業（十月）などがある。

「おしん」人気で観光客が増えていることも事実であり喜こばしいことであるが、働く場をもっとふやして若者が定住を望む魅力ある酒田の建設をめざさなければならないと相馬大作市長（二三回卒）が先頭に立って市民全員真剣に取組んでいるところである。東京亀城会の各位からは、酒田市或いは周辺各町に対して「ふるさとへの提言」をぜひ寄せて戴きたいと念じており、そのためのパイプ役としてお手伝してまいりたいと考えております。

東京事務所には
佐藤光保（四四年卒　遊佐町）
長谷川倫（五六年卒　酒田市）
が勤務しており、そのほか庄内出身者が四人おり、県勢発展をめざして業務に励んでいる。

住所は千代田区平河町、都道府県会館（電話265－5931）

山形県東京事務所勤務
（昭和三〇年卒業・酒田市）

日鐵化学工業株式会社
相談役
工学博士　吉田尚（昭和三年卒業）
電話〇四二四（六一）七一五三　田無市西原町四－六－九

東京亀城会顧問
竹内六郎（昭和四年卒業）
電話〇四四（七七）五八三七　川崎市中原区井田一四三一

(株)極東窒化研究所
取締役社長　小野尚太郎（昭和八年卒業）
電話〇四六三（七五）二三二一　神奈川県秦野市三屋四一

株式会社　気工社
（砕石機械ならびにプラント・公害機器製作）
常務取締役　清野部（昭和二一年卒業）
自宅　電話〇四六六（四八）三二一一　藤沢市鵠沼藤ヶ谷三－一四－四
電話〇四六六（二二）七五六三

加藤外科医院
院長　加藤信吾（昭和二三年卒業）
電話七七一五一一　品川区大井一－四－一〇
六八

木村病院
院長　木村謙一（昭和二五年卒業）
電話九五九－三一一二　板橋区中丸町二－一－三

株式会社弘生書林
社長　佐藤弘一（昭和一七年卒業）
※自費出版のご相談にも応じます。
電話二九四－四〇三七　千代田区神田神保町一－六〇　赤石第一ビル二－一五

日本通信建設株式会社
品質管理本部
取締役本部長　市原富太郎（昭和一九年卒業）
会社　電話四四七－二三－一一四　港区高輪三－一－一
自宅　電話七〇二－八－一三　世田谷区中町二－一－一（代）

日本原燃サービス株式会社
取締役　佐藤豊作（旧姓小田）（昭和一九年酒中二〇回卒業）
電話五八〇－六九一一　千代田区内幸町二－一－一　富国生命ビル内

真空器械工業株式会社
専務取締役　成田敏雄（昭和一九年卒業）
電話七六二－七八一一　品川区南大井三－二－六

日本鋼管株式会社　技術サービス部
部長　長沢昭（昭和一〇年・二一回卒業）
自宅　電話二二一－七一一一　千代田区丸の内一－一－二
電話〇四五（三九一）三六八七　横浜市旭区中希望ケ丘五五

株式会社アメリカ屋靴店
常務取締役　伊藤憲三（昭和二〇年卒業）
会社　電話七六七－五一一一　大田区平和島六－一－一　東京流通センタービル
自宅　電話四八四－二一一〇　世田谷区成城四－四－三
八

ラジオ日本（JORF）
取締役　佐久間正（昭和一〇年・二一回卒業）
自宅　電話〇四五－三三－一五三一　横浜市西区老松町一－九
電話四二－八五　世田谷区代田一－四〇－四三

株式会社　開発PR社
代表取締役　五十嵐儀勇（昭和一五年卒業）
電話五五二－八三　中央区新川一－一四－一二
八七

佐藤トロフィー株式会社
代表取締役　佐藤知章（昭和一五年卒業）
電話八〇七－三一九二　本社　荒川区東日暮里五－三五－一一

関東学院女子短期大学教授
マサカ小児科医院院長
医学博士　真坂孝二（昭和一五年卒業）
電話〇四五（八一三）七八六六　横浜市戸塚区川上町五六〇

西村法律事務所
弁護士　西村三渚（昭和一六年卒業）
自宅　電話六八四－六一一三　江東区大島六－一－一六－三六七

山形相互銀行
外国部
部長　石山敬治（昭和一八年卒業）
電話三六一－〇一八九（直）　新宿区西新宿七－一－一

あのこと このこと 想い出を語る

大正時代の酒中

工藤　昇一（大正一五年卒業）

大正時代の卒業生は一回生と二回生だけであり、名簿では一二〇名であるが、現存者は恐らく半分位と思われ、淋しい思いがする。会報事務局から創立当時の代表として何か書いてほしいと云われたので、筆をとった次第です。一回生は商業学校の教室をお借りしたようですが、二回生は、幸にも、亀ヶ崎城跡の新校舎で授業を受ける事ができたのですから、喜ばしい事でした。大正十年十一月三日の厳粛な落成式の模様とむせるような塗料の香は、今だに五感の一部に残って居ります。創立当時の私共として最も記憶に残る事は覚蕣発、初代校長の事です。東大を出て三十代の若さで赴任されて以来、満五年半に亘り、只、是教育の為に尽された功績には実に尊さを覚える次第です。日本一の中学にするという強烈な信念を持っていた反面「一科目落第」という酷な事もありましたが、みんなよく勉強しました。

終身、独身で通されたようですが、濃い眉毛に、大きい目玉、鼻下から顎一杯の見事なひげ等、今でも彷彿と浮んで来ます。更に、その下には、一騎当千の先生達が揃っていて、中でもこれを、二回生を中心に考えると、理数の菊地先生、英語の有坂、国漢の飛木、大原等の諸先生が実力派のように記憶されて居ります。一回生が四年終了で、七人も、旧制高校に入学し他校を驚かしたのも、一応、その成果と考えてもよいかと思われます。

質実剛健、地味に真面目に校風であり、柔剣道を正課としており、柔道部では高山雄蔵先生の指導を受けて居りましたが、田中周治、佐藤元二氏両人は嘉納治五郎師範等による昇段試験で見事合格した事は特筆大書すべき事でした。剣道部では伊藤政一先生亡故の後は武内里六郎先生の指導を受けて居り、渡部暢夫、伊藤義三、斉藤毅、工藤昇一、竹内五郎氏等が有段者でした。

因に、当時、酒田には竹内道場があり、高野佐三郎範士、菅原融七段等が毎年のように来られ、私も両先生のご指導を受けました。最後に、水泳部は名物男、常松一次先生の紹介で秋田中学の鈴木毅氏を講師として迎え吹浦や鳥崎海岸で本多金吉氏宅に合宿し、鳥崎―小砂川の五里半の遠泳をやった事が楽しい思い出です。

大正末期に卒業して以来、五十八年の歳月は遥遠なく過ぎ去ろうとして居ります。功成り名遂げて我々に別れを告げた同級生も半ばを過ぎました。

しかし、清新な意気に燃ゆる昭和の皆さんは二十一世紀めがけてエネルギッシュに十二分に活躍されるを心から念願して拙文を終らせて頂きます。

荘内昔今

菅原　藤也（昭和六年卒業）

先般日経紙文化欄に「私の履歴書」を連載された作家円地文子さんが、終り頃に、「戦時中、今日出海氏と共に酒田で食事の際、料理のおいしかったこと、特に荘内米海苔まきと握りが米粒一つ一つ光っているようで、その味たるや絶妙であった」と回想されているのを読んで、私は嬉しく思った。（但し料亭名不詳）

戦後「相馬屋の味」を日本料理の精髄として度々文芸春秋誌上に披露されたのは、故吉田健一氏であるが、洋の東西にわたっての、あの通人吉田氏に舌を巻かせ、いとうるわしい交遊抄を築きあげた名亭相馬屋の主人治一郎氏は6回卒であることはいうまでもない。

今の私の勤務先の学園長夫妻は、戦争末期伊藤孝太郎邸に疎開された由で、荘内の風物に知悉しておられること私の及ぶ処ではないが、あの物資欠乏の折でも、米飯の美味と季節のシュンを生かした魚菜の味を絶讃回想して頂いており、私にとり肩身が広い。

しかし母校在学中の前成人期は、そういうシュンの味覚を堪能したり自覚する心の裕りはなかったといってよい。それが当り前と想っていたからである。

食い気盛りの中学生にとり、最大の魅力は同期生伊藤俊吉君（故人・数学が得意で、戦争初期母校教壇に立った）宅経営（内町）の「台湾饅」（五銭）であり、支那ソバ（十五銭）であった。特に冬の間、従兄島海俊士(3)、築郎(6)兄弟と共に下宿した天正寺町ラジオ屋隣りの支那人直営「来々軒」の味は忘れ難い。この下宿に架山泊もときに押しかけてきたのが従兄らの親友本田（現佐々木）求巳氏(3)であり、加藤文吉氏(6)で、一年坊主の私はしばしば使い走りをさせられた。当時配属将校並風紀係上級生というオッカナイ存在があって、置い食は禁ぜられていたから、「使い走り」には仲々スリルがあったが、「水菓子」とは果物の別名だとを知らずに笑われた。これを優雅に解説してくれたのが二歳年長の小松仟秋氏（再従兄）である。

さて往時渺茫五十余年、歳月の通過と共に私の舌は故郷に戻ってきた。月山竹味噌汁ミズ叩き、ジョン菜、山うどあえ物、小鰈の焼物、胡麻豆腐、納豆汁、寒鱈のチリ、こんにゃく鱈子煎り、鮭味噌粕漬等々を愛妻にせがんでいる次第だが、右関係料理が独善的おくに自慢でないことは右記文化人諸氏の絶讃エッセー自明である。このことは江戸時代の荘内の文化水準が東北屈指であったことに由来すると想う。『経済史的考証文献として井原西鶴「日本永代蔵」（鴛屋家記述）や宮本又次博士の「日本経済風土記」がある。』

出会いの人生

村主　彦（昭和一二年卒業）

去る2月1日のNHKテレビ開局30周年の記念番組の出演に続いて、5月27日に科学技術館において日本映画テレビ技術協会より増谷賞（57年度）を授賞いたしました。

この賞は映画テレビ界での永年の活躍に対して与えられる60才以上の個人賞であり、思いがけない栄誉でございました。

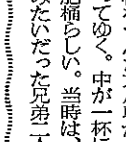
中学時代の思い出を書くのにどうしてこのような書き出しになったのかと申しますと、私の歩んできた人生の重要な分岐点には、それぞれに道標となり導いて下さった先生方との出会いがあり、その先生方に御報告したいといった気持からです。

中学時代に将来の方向づけがなされた一番目の出会いがありました。それは田中甚吉先生との出会いです。当時3年生だった私は算数は全く駄目、英語も苦手、それに加えて友人が退学していった事なども重なって学校生活にも前途にも希望を失いかけていたどん底の時期に先生にお会いできたのです。先生は美術学校を卒業して最初の赴任地が酒中だったのです、若々しい先生の周辺から発する芸術性放射能に忽ちに反応して、私の中で眠っていた何かが目を覚したように美術に夢中になってしまいました。年に一回公会堂で開催される絵画部の展覧会にも精一ぱい頑張るようになりました。絵画部の仲間には大谷靖一郎君、本間敏之君、高野一郎君などがおり互いに競いあったものです。夏季合宿や由良海岸、加茂などの写生旅行なども楽しい想い出です。

先生が転任後に、先生の播かれた美術の種子が芽を吹いて、東京美術学校の彫刻科へ本間敏之君、村田俊治君、それに私と三人が入学することになりました。しかし憧れの上野の森で芸術に励むことができたのも束の間、戦争は益々激しく、本間君（満州で戦死）村田君（アッツ島で玉砕）とあたら才能を散らしてしまい、一番非才な私が生き残る皮肉な運命でした。

戦時中、東宝撮影所で美術の仕事をしておったのですが、ここで二番目の出会いがあったのです。それは名カメラマンといわれた唐沢弘光先生との出会いです。一流の技術と深い経験の持主です。その先生の奨めで戦時中の一時しのぎの稼りでやっていた映画美術の仕事からカメラ助手に転向し映画カメラマンの道を進むことになったのです。後年NKHのテレビ放送開始に先だって入局していた先生の招きで昭和28年、NHKに入局、テレビカメラマンとして主にスタジオ番組の制作に関ってきました。大河ドラマ第1回「花の生涯」から第8回「樅の木は残った」までのシリーズを手掛け今日の大河ドラマの基礎固めをした作品群は苦しかったことも、楽しかったことも、思い出多い番組でした。

小学校、中学校と一緒だった、若林義治君、小右尚忠君が日本テレビで、私がNHKでテレビ放送の初期から頑張っていたということも、偶然とはいえ、あるいは三番目の出会いだったのかも知れません。



下宿時代

工藤　精（昭和一六年卒業）

酒中時代、自転車通学の私は仲間と共に酒田に下宿した。一年と二年の冬は、小樽高商から海軍予備学生となり、訓練中に事故死した杉山藤太君と、下台町に下宿した。

そこでは、奇麗な娘さんが毎日の食事の世話をしてくれた。二年冬、夜遅くまで一夜漬けをしていたとき、隣室に寝ていた彼女が、突然寝言で、隣家の長男の名を叫んだ。

翌日杉山は、「工藤、この下宿は不愉快だ、来年は別の下宿を探そう」と真剣な目付きで言った。

つぎの昭和13年からの3年間、予科練に進み、ソロモン沖で戦死した佐藤雅尚君、山形警察署長をした兼子真一君などと、近江町の日枝神社にある本間輪店の二階に移った。

そこには、日本郵船で名船長の声の高かった佐藤秀雄君、東京の中学の先生松沢悟郎君、象潟の医者村上一福君、前述の杉山君、既に鬼籍に入った土門欣一、村上忠広、伊東幸治、佐藤美代三の諸君が集まり、口角に泡をとばしながらけんけんがくがくと議論し、或いは泣き、或いは歌い、さながら梁山泊の様相を呈した。

何しろ食盛りの豪傑共が集るため、佐藤や兼子の私は、常に懐中無一文でピイピイしていた。

見かけた下宿のおばさんが、「菓子を25銭買ってこないと、二階に上れないよ」と彼等に声をかけてくれた。面倒見のよいおばさんに頭の上らなかった彼等は、きびすを返すと、センベイを買いに走った。最も熱心に通ったのは、佐藤秀雄君であったが、彼の目的は他にあった。彼は私達が知らぬ間に、下宿の娘、本間やう子さんを射とめ妻にしてしまったのである。

また時には隣の二階で勉強中の19回卒業の和嶋茂男君に向って、「おーい、遊びに来ないか」と叫んだ。察しの良い彼の母堂は、ピイピイの上級生達のもとに、菓子包を持たせて遊びによこした。

試験のときなど、夜が更けて、亀城会東京支部役員諸氏より昨年次大会の郷土料理すべて気に入れり。大正、昭和シングル卒老童連の一堂に会するは、この老人舌の回帰本能切なるものに拠ることの大事な点を忘れ給うな！

（次号より「荘内食物誌」（仮題）で連載いたします＝事務局より）

暗中明あり

佐久間　正（昭和二〇年卒業）

私達が酒田（旧制）中学に在校したのは、ズバリ、大東亜戦争の期間であった。

中学一年の十二月に、日本は米英と戦いを始め、四年卒業の八月に敗けた。ついでながら、五年制中学校の制度が始って以来、四年生で卒業させられたのは、私達の期だけである。

私達の中学の生活は、灰色の青春だった。しかし、暗さだけではなかった。

街で真白な初冬の朝、兄（宏、十年前に亡くなった）と二人で登校した。

酒田中学の通用門の坂道を、大きな桶をつんだ大八車が、ウンコラ登ってゆく。中が一杯になっている肥桶らしい。当時は、修身の権化みたいだった兄弟二人は、早速、後押しをしてやった。

校庭に入り、兵器庫（軍事教練で、五年生と四年生が担ぐ三八式歩兵銃とロシヤ銃が、計三百挺格納されていた）の前までくると、地面は平である。もうよかろうと、兄と私は後押しの手を離した。

ところが、汲取りの若い衆は、大八車をしっかり押さえていなかったらしい。棍棒がはねあがって、肥桶がズルズルと車の後までずり落ち、斜めになり、中のオワイが半分流れだした。

やがて、校庭で朝礼が始ったが、オワイをぶちあけた場所が、丁度、先生方が並んでいる後にあたる。日頃、しかめつらしく道を説いてる諸先生が、クサイ、クサイと大騒ぎだった。

私共兄弟が、知らん顔をしていたのは、勿論である。

大東亜戦争が日本に不利になり体に悪いところさえなければ、誰もが軍隊を志願させられた。しかし、軍人になれば、明日をもしれぬ運命だった。

四年生の一学期（?）に、G君が予科練（海軍）に入隊することになった。

クラス全員で見送りにゆくのだが、授業中ではそれもできない。もう会えないかもしれない。

皆、どうしようかと迷った。時間は刻々と迫ってくる。誰いうとなく、全員で級友の出征を見送りにゆくことになった。

もはや余裕がない。学校の北側の土手をのりこえ、駅まで走りに走って、やっと、G君の出発に間にあった。よかった。

一方、先生の方は、教室にきてみると、もぬけの殻である。

考えてみれば、一種のストライキである。おまけに、禁止されている土手をのりこえている。私は、担任の先生によばれた。ストライキの首謀者（ではなかったのだが）として、退学までゆかずとも、停学ぐらいはくらうかと、気が重かった。

しかし、軽く注意されただけで、その日は無論のこと、後日になってもお咎めはなかった。

株式会社　新（あたらし）鉄筋工業所
常務取締役　金山義雄（昭和二八年卒業）
会社　電話　川崎市麻生区片平五―六―九　〇四（九八八）五四〇〇
自宅　電話　川崎市麻生区百合丘三―三―一〇　〇四四（九六六）二四八

日本ユニバック株式会社
情報システム部長　斎藤哲夫（昭和二八年卒業）
港区赤坂二―一七―五一　電話　五八五―四一二一（代）

株式会社　日本メディコステイション
取締役社長　中山嘉彦（昭和二八年卒業）
渋谷区東一―二―五　電話　四〇六―七七五三（代）

東京消防庁
野方消防署長　佐藤英司（昭和二九年卒業）
中野区丸山二―二―一　電話　三三〇―〇一一九

大和証券株式会社
財産形成部　相馬敏（昭和二九年卒業）
千代田区大手町二―六―四　電話　二四三―二九八一

池田社会保険労務士事務所
社会保険労務士　池田秀也（昭和三一年卒業）
東京都保谷市ひばりヶ丘一―八―三　トミース・ハウス一〇二
電話　〇四二四（二四）二三四五

兄弟自動車ボディ修理工場
代表取締役　渡辺武（昭和三一年卒業）
神奈川県大和市六―六―七　電話　〇四六二（六一）八六二五

株式会社　食振興
代表取締役　尾形格（昭和三五年卒業）
新宿区四谷一―九　天竜ビル五階　電話　三五五―三六六一

後藤電設工業
代表　後藤功記（昭和三五年卒業）
三鷹市大沢二―一九―二　電話　〇四二（三三）三六三三

新橋ニューロータリー
店長　後藤武美（昭和三五年卒業）
港区新橋二―一七―五（駅構内銀座口）　電話　五七二―一六四五

電子部品総合商社
株式会社栄電子
代表取締役　染谷英雄（昭和三五年卒業）
本社　千代田区外神田一―一―四　電話　〇三（二五七）一八〇一（代）
営業所　秋葉原・立川・横浜・千葉・高崎

株式会社　福田組東京支店
建築部工事長　富樫健三（昭和三五年卒業）
会社　新宿区市ケ谷本村町二八―四　電話　二六九―四四一一（代）
自宅　世田谷区尾山台二―二〇―一〇　電話　七〇一―四九三一

高砂熱学工業株式会社
営業企画部　小野正夫（昭和三六年卒業）
会社　千代田区神田駿河台四―二　電話　二五五―八二一一
自宅　東京都日野市神明三―二〇―一　電話　〇四二五（八四）九六五九

大日本印刷株式会社
建材事業部メタルプリント営業本部
東京営業部
次長兼第三課長　小永光隆一（昭和三六年卒業）
新宿区市ケ谷加賀町一―一二　電話　二六六―二七五五（直通）

本間物産株式会社東京支店
支店長　齋藤昭一（昭和三六年卒業）
自宅　東京都日野市四七五―八　電話　〇四二五（八三）七二一三

スプルス・米ビバ
米松・タモ造作挽立材
有限会社　鞍原商店
専務取締役　吉泉征勝（昭和三九年卒業）
江東区新木場二―九―六　電話　五二一―七八二一

聖心女子大学講師
クリエイティブタンススタジオ主宰
（研究生募集中）
杉山由美（昭和四四年卒業）
自宅　調布市富士見町二―六―二―三―五〇二　電話　〇四二四―八三―八八一七（高田）

あのこと このこと 想い出を語る

その頃の私

佐藤悦彦（昭和二七年卒業）

終戦後の混乱の最中の昭和二十三年四月私は県立酒田中学校の夜間部に入学をしました。戦後の世相の混乱さながら人心も荒廃をしこれを切抜けるには教育しかないと子供心に胆に銘じ私は酒田中学校を選んだのであります。

当時のわが家の家計は蹉くと折角の父の昼間部への入学の希望に反し自からの力で勉学をし人生を切り拓いてみたいという決意で敢えて夜間部を選んだのです。

仕事の面では新井田川河川改修工事の人夫、八百屋の番頭新聞配達を経験しながらの勉学は当時としては決して楽なものではなかったはずでありますが勉学のための資金と云う考え方から苦労を苦労とも思わなかったのであります。

今考えてみるとき総てが懐しく想い出されてなりません一年間の酒田中学校の課程を経て当時の教育行政改革により併設中学校三年を終了の証書を手にした記憶をしております。同年新制高校となり二年生編入となったのであります。

当時の県立酒田東高校にはすばらしい先生方が多く中学校では岩淵校長先生、高校になっての上野校長先生体育の市原先生、国語の藤井先生、英語の小原先生、理科、数学の阿部先生は特にお世話になり感謝をしております。運動の好きな私は籠球部に籍を置き各高校との対抗試合をやらせていただき一方音楽部長として各発表会に参加をさせていただきました。

母校の四季の気候の変化は極めて正確であり四季を分かたず夜景の美くしさ特に月のながめは格別であったことと校内の一隅にある八幡神社は特に印象に残るところであります。

気候のよい時の一時間目は非常に眠く冬の厳しい時にはその寒さに耐えての勉学も将来の大学受験のためのものだったことがこれらの種々の厳しい条件を克服して来た原動力たり得たのでありましょうか。私は今過去を偲び私に対し厳しくそして温かかった諸先生方友人各位に感謝すると共に誇り得る母校山形県立酒田東高校を持っていることの幸せを心から感じております。今改めて「わが故郷の山はありがたきかな」と……。

万年下級生

兵藤立美（昭和二七年卒業）

私達が憧れの酒中の門を通る事を許されたのは終戦の翌年、昭和二十一年春のことであった。春まだ浅い四月、酒中の通用門から迎え入る鳥海山の裾野まで白い姿は二十七年を経た今でも心の奥に望郷の念と共に一緒にしまいこまれている。旧制山形県立酒田中学校の最後の入学生として記録される二十七回生は以後四年間はつねに最下級生でなければならなかった。くる年もくる年も下級生は入って来ないままのいわば末っ子のような境遇であった。そのため落第もしなかったのに六年間という長い年月先生方の教えを受けられたわけである。今から思うと、そのためにより一層の親密な友人関係も培われたようである。時の流れとは言え、少年期から青年期にかけての多感な時期を六年間も一緒に学べたのは本当に幸運であったと思う。学制改革にもまれた六年間であったが、今のように三年切りの学園生活ではない、いわば六年間の一貫教育であった。このことは私達の人生にとって大きな影響を受けたものとなっていて、昨今の受験戦争とは一味も違った学生時代を送ることができたと思っている。

私達の入学した時はまだ戦後のいちばん混乱した時でもあり人々の心も敗戦という痛手からまだ立直れないままの状態にあって、あらゆる物不足の情況とあわせて、すさまじい時であった。教室のガラス窓は破れても補修できない有様で、時としてガラス窓に板をはりつけている所もあった。もちろん運動靴など誰も持っておらず、体育の時間は裸足でグラウンドを走り回っていたものである。通学には跣などはかず、足駄と称する高下駄をいつもはいていた。履きふるされた高下駄などは鼻緒の両わきの親指の部分が木の部分にめり込んでいて、猛者はまたそれを誇りとしていたようだ。そのためか今でも足首は人より丈夫にできているようだ。冬の黒いマントといい当時の旧制高校へのあこがれの念が入り混っていたものであったものだろう。

物質的には決して恵まれた時ではなかったが、豊かで大らかな自然と人情味溢れた人々のもので送ることができた青春時代を振り返ると三十年以上昔のことがつい昨日のことでもあったかのように鮮やかに甦えるのである。

体育で社交ダンス

大滝千佐子（昭和三二年卒業）

昭和30年前後はどんな高校だったのか？。テレビなどのように動く一連の情景よりも、セピア色の写真のような一断面を思い出すことが多い。医学生としての6年間の経験が長期間あり、あまりに強烈だったためか、懐しさ、ほろ甘苦さに包まれてしまって、ぼんやりの部分が多い。

私の高校時代は、高度成長を遂げんとする時代の少し前だったためか、物質の豊かさはなかったがのんびりと、心おだやかに過せた時代だったと思う。

今から思えば、ツッパリもせず質素で、真面目な学生時代であった。塾は勿論ないし、家庭教師についていた人も、ほんの限られた人達だったようだ。もっぱら「蛍雪時代」と、"傾向と対策"の受験参考書を愛用していた。

女子は一学年四十人位で、一学年六組の中、一～三組に十数人ずつ分けられていた。

組変えは二年間なかったので、四～六組は、男女共学の恩恵(?)にはあまり浴していない。体育の授業は、一～三組の女子が合同で受け、結構、社交ダンスまで習った覚えがある。

現在、女子のみが必修である家庭科も、幸い(?)なことになかった。

トイレは片隅に二ケ所あり、大急ぎでかけつけたものである。体操着も、体操員室兼場兼部室である汗臭い小部屋で着換えた。

特別な制服は規定されていず、華美にならない程度の自由さはあったが、セーラーやブレザー型の服を着用している人が多かった。

中には、おしゃれの人もおり、ウエストを細く強調したり、胸の開きの大きい洋服を着て、先生から注意を受けていた人もあった。

男女共学と云っても、女子は、1／6～7程度であり、だからといって臆することもなく、したたかに男性に伝していたように思う。校内では会話があっても、一歩校外に出ると、互いに話しかけもできないような、ウブさだったように思う。（現在の仲よしこよしの時代からは考えられないが……。）

毎年、クラス対抗のスポーツ大会が行われ、女性軍の黄色い声援は男子組に、相当の威圧を与えていたようだ。文化祭、運動会も、結構盛大であり、運動会での女子全員による民謡踊りや季別に別れて戦う運動会での仮装行列は、呼びものの一つであった。

私のクラス、三組では"力"、"云いたい放題"の二冊のノートをクラス全員にまわし、適当に書き読みしていた。現在ではもうなくなったのか、読みかえしたいものである。テレビも電話の普及もない時代、もっぱら学校でのおしゃべりは楽しかった。ハンガリー動乱についてや、女性の生き方を論じたり、今から考えても割りとシビアな話題が多かったように思う。

進学校とは云え、女子の進路も卒業して、はや十六年という歳月が……。一瞬、愕然として次に狼狽。元来数字に弱く、大学も数学のあまり必要のないところを選んだくらい。卒業して浪人一年間、大学八年間、職らしきものに就いて七年間。そうだ、十九年前だった。酒東に入学したのはうれしかったが、なんとも困ったのは坊主頭にして草靴を履いていたということだった。生れてこのかた坊主頭になったことのない私ははじめて自分の頭の輪郭を知った。下駄しか履いたことのない私は靴の感触を知った。ようやく自分の坊主頭に慣れた頃に、新潟地震が起きた。私のいた教室は柔道場の奥にある四教室からなる二階建の離れのようなところだった。春休みが終わり授業始まりの礼をするために立ち上がった時にぐらぐらっときた。しばらくは大きな地震だなあくらいに思っていたが、なかなか止らず、揺れも更に大きくなったので外にとびだした。グランドを見ると地面が海のように波うち、校舎は軟体動物のように揺れていた。一瞬、地震ではなく他の何かが起きたのではないかと思うほど不思議な光景だった。その日は川が逆流し、港の水面も下がり大津波がくるということで授業が中断されたが、幸い大津波はなかった。揺れが大きいわりには被害は少いようだったが貴重な体験をしたものだと思う。

それからなつかしく思い出すのは古い建物に増築された部分がくっついた、多少複雑な校舎だ。職員室を中心とした回廊になっていて、そこから体育館に通じる廊下や、柔道場あるいは理科室に行く廊下がのびていた。その廊下は一枚板でギシギシと鳴り、理科室あたりには年輪の浮き出た柱もあった。

新潟地震

山木雅徳（昭和四二年卒業）

現在ほど聞かれていず、女性の地位の向上に関心をもって、今でも頑張っているものが多い。ちなみに十三人の女子の級友の中、約七人が社会に出て働き頑張っており、その中、五人は専門職についている。今後、東高の女子学生の健闘を望みたい。

加藤敏郎画伯のさし絵

山形県には画家、彫塑家など美術家が多いというが、亀城同窓会もその例にたがわない。八回生加藤敏郎氏はさし絵画家として大活躍の作家。特に時代小説における考証の正確さ、筆致の優麗さと力強さの調和で高く評価されこのジャンルの第一人者となっておる。

酒田市新堀の生れ、酒田中学昭和七年卒業後、川端画学校洋画科修了。洋画よりさし画に心酔、さし画家を志ざし、戦前のキング、講談クラブ、富士など講談社発行の雑誌に執筆。最近の主な作品は、山岡荘八作「伊達正宗」、早乙女貢作「会津士魂」などを担当している。

アトリエは東京都杉並区成田東三ノ三一ノ十三電話三二一—九一三四

（さし絵は滝口康彦作「流離の譜」より）

御訃報

◇二回小野寺進氏（日立メディコ）昭和五八年一月御死去。自宅千葉県柏市あかね町八一三一一〇八

◇二回渋谷忠三氏（ライトプロジェクト社長）昭和五八年四月御死去。自宅横浜市磯子区岡村二一二一三九。

東京亀城会

会長　河村竜郎（昭和八年卒業）
大洋技研工業顧問
横浜市緑区荏田町四六三—四
電話　〇四五（九一一）八八八一

副会長　佐藤昌祐（昭和一二年卒業）
蒼騎会（洋画）主宰
練馬区東大泉三ノ三〇ノ一四
電話　〇三（九二五）六二七二

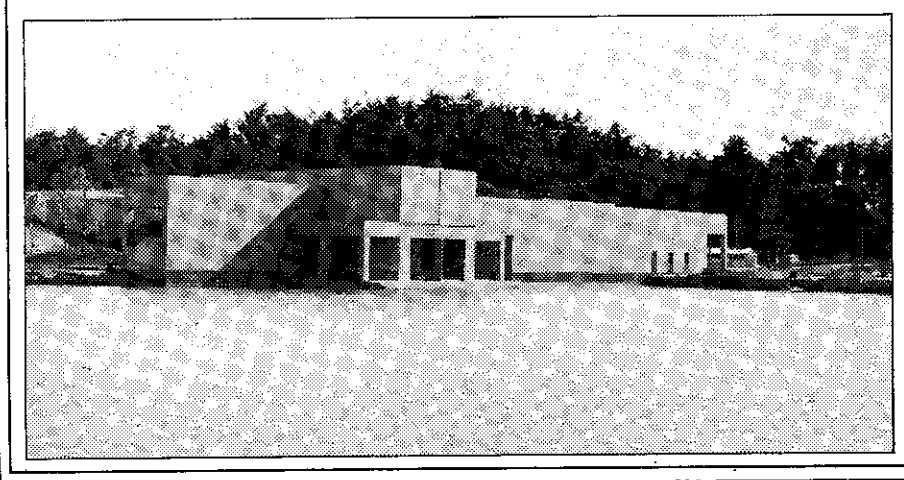
副会長　若林義治（昭和一一年卒業）
日本テレビ放送網㈱常勤監査役
田無市緑町一一—五—四
電話　〇四二四（六一）五五六三

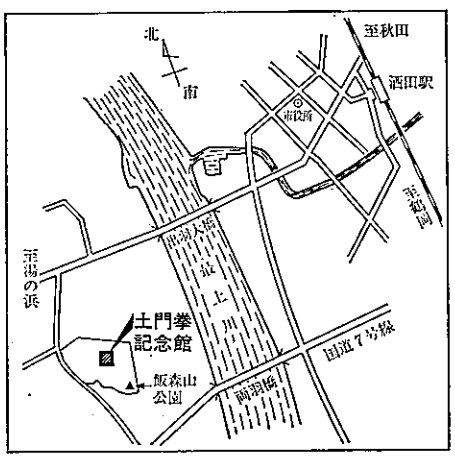
財務担当常任理事　土田喜彦（昭和二八年卒業）
中野区新井五—一八—九
電話　〇三（三八七）四七三一

酒田市 飯森山公園に 土門拳記念館 10月 オープン

施工・間組

世界的写真家　土門拳氏は、名誉市民として、生れ故郷の酒田に7万点に及ぶ全作品を寄贈。豊かな自然にめぐまれた飯森山公園内に、わが国初めての写真展示館を建設。その価値ある作品を常時展示します。





土門拳記念館の概要

◆名　称　土門拳記念館（写真展示館）
◆建設地　山形県酒田市大字宮野浦地内 飯森山文化公園内
◆設計者　谷口吉郎建築設計研究所
◆用　途　写真、資料の保存と展示
◆構　造　鉄筋コンクリート造り（一部二階）
◆規　模　延面積 約1,750平方メートル

主要展示室　土門拳先生の代表作「古寺巡礼」、「室生寺」の大作を年4回程度の展示替えで紹介します。

企画展示室　土門拳先生の他の作品などは、企画展示として11インチ×14インチのサイズで展示されます。

視聴覚室　写真を一般の人に紹介するために、写真に関する教育フィルム等の上映のほか、内外の写真家や一般愛好家の作品等の企画展示も行なわれます。

記念室　土門拳先生のこれまでの業績を記念する品々、および愛蔵の美術品等の展示も考えられます。

休　憩　ロビー、談話室等においても来館者がくつろぎながら、いろいろな企画展示を鑑賞できる空間を取り入れられております。

収蔵庫　額装された「古寺巡礼」などの大作や、11インチ×14インチのサイズに収められた他の全作品、ネガなどが収蔵されます。

資料閲覧室　土門拳先生の作品集、出版物、作品のコンタクトブック等は、学芸員の管理のもとに一般の人々は自由に閲覧することができます。

迎　賓　国際的写真家土門拳先生の作品鑑賞のために、さまざまな賓客の来館が予想されます。それらの人々を迎える応接室が用意されます。

山麓会発足その後

写真は後列右より

久松武宏　最上邦夫　剣持隆　池田弘　高橋稔　二木正敬　小野正夫　本宮正幸　前川忠明　斎藤軍司　小永光隆一
小川（斉藤）紅　狩野良平　溝口（山本）恵美子　奥山忍　日馬（池田）洋子　木山潔　斎藤昭一　木野（斉藤）博子　坂宏　南（加藤）故郷子　畠中（川俣）まり子　土屋清志　宮下洋　田辺（本登）邦子

（昭和五七年五月横浜にて）

東京亀城会を知るきっかけは、先輩と仕事の打合せで会った時のから始まる。

（それ以前は山形亀城会にお世話になっており、活動内容についての予備知識はあったのだが……。又、四十一年頃には現在東京亀城会員の石山敬治先輩（山形相互銀行外国部長）と今は物故者となった、石塚充夫先輩と秋田亀城会を発足させるべく奔走、徹夜をした事なども想い出されるのである。

確か、事務局を内山医院（内山忠司先輩）に置いたはずだ。第一回の会合も秋田市内の料亭で行ない、無事発足したかの様に見られたのだが、その後の事はさだかでない。）

初めて参加した時は二、三人しか知ってる会員はおらず、その中に小野正夫君の顔があったのだ。でも顔は知ってても同人と語りあった事は、在校中の後にも前にもなかったのである。小永光隆一君が東京亀城会の幹事をしておる事を知らされ、阿部先輩（事務局でがんばって来られている）から、お互に連絡を取り合って、仲間に働きかけてくれとたのまれてもいたが、当の本人と語り合った事も、小野君同様全くなかったのだ。

卒業して二〇年目、我々三六年卒業の仲間が山麓会を発足させ会合を持つ事となったのも東京亀城会が発端である。

前記の小野君、小永光君、船山彰君等と名簿の整理から始めたのは言うまでもない。

打合せの機会が多くなればなるほど、仲間意識の結束が深くなって行く事は本当にうれしかった。正直言って会の発足に不安も大きかった。でも二〇年のブランクなど全く見られない。昨日今日の仲間の様に燃えたのである。三六年三六回卒業と言う事で、又鳥海山のフモトで育った事もあわせ、我々の会をば山麓会として首都圏の仲間によって、うぶ声を発したのである。この事は故郷の仲間にも働きかけて行く事になるのである。幸いにして、小生は毎月一回は酒田に出張する機会があった。酒田に居る仲間達とも活発な連絡が始まった。勿論アルコールの度も平行して伸びる事は前後に落ちないのである。

卒業後二〇年にして我々の手でほぼ正確な名簿が作成されたのである。山麓会首都圏支部会合の案内状を六〇数名に送った。何名出席するのだろうかとの不安があったが、結局半数近い二八名の顔が会場に出て来た。

二〇年振で会う顔と姿、感激をかくしきれない。十一時に始まった初会も二次会、三次会、四次会と続き欠けるメンバーも数名のみの盛会であった。まさに酒東健児ここにあり、時は56年4月26日の上野忍ずの池近い一角で青春を取り戻したのである。

一方酒田に於いても、小山健君、本間寛明君、斉藤正典君、糸谷重臣君、加藤恒美君、長山昌子さん、矢口八重子さん、富樫ゆい子さん達を中心に本部主催の山麓会を準備して下さり八月十二日に当時のご担任であられた相蘇先生、佐藤善一先生、鳥海先生、高橋正先生、伊藤次郎先生のご出席を頂き盛会をおさめる事が出来た。破顔一笑の面々の姿が今でも頭をはなれる事がない。二〇年、光陰矢のごとしのはずであった訳だが、再び青春のど真中に戻った様な場面であった。

翌年も首都圏支部、太部主催の集いが開かれており、顔ぶれも年々変って来たが、出席者は多くなる一方である。

会員の移動も掌握され毎年名簿の発行をみている事も大変うれしい事である。よって本部主催の例会は毎年八月十五日に酒田市内の会場で行なわれる事となり、より多くの出席をお待ちしておるのであります。

定例会の外に麻雀愛好会、ゴルフ愛好会も適時開かれ、会員の親睦を深めておると聞きおよんでおります。

又、首都圏支部に於いては昨年九月十月頃に、多摩川べりで山形独特のいも煮会を行なうべく、幹事一同はりきっておったのだが、秋の長雨で日程がつぶれ涙を飲んだのであります。そして今年は絶対実行と今から準備を進めております。

話は変りますが、山麓会の現在の会員は本部自三十四名、首都圏以南百十五名、海外在住三名、住所不詳者三十五名、そして物故者九名の合計二百九十六名であります。

申し述べた事が出来たのも、亀城会本部、東京亀城会の大きなバックボーンがあったからであり、一筆感謝の意を表しておきたい。

若瀬川後援会結成

酒田市亀ケ崎出身の有望力士若瀬川（本名佐藤亘君＝二〇歳）は現在前頭筆頭まで出世しているがこのたび東京亀城会の有志が中心となって東京後援会を結成することとなった。最近準備会が開かれ約四十人が集まり、次のような規則を決めた。

一、後援会は東京場所の年三回激励会を開く。

二、会費は激励会のたびに飲食代五千円、若瀬川激励金五千円とする。

なお、顧問は金子智一、日高一輝両氏、事務局長は佐藤順陽氏、事務局は渋谷区代々木二―二二―二三㈱栄広　電話三七五―三一六一、担当奥山氏。多くの皆様の参加をお待ちするとのこと。

☆事務局から

不況にも拘わらず広告活動にご協力いただいた会員、関係者の皆さまには心から感謝いたします。

昨年同様、広告活動は栄広㈱＝社長奥山紘史氏（三五年卒）＝にお願い致しました。

また、印刷に関しては㈱精華社の佐々木高一氏（三五年卒）に格別の尽力をいただきました。深く御礼申上げます。

会員スームイン　第一回

板橋区議　二期目をむかえた　自民党　佐藤悦彦議員

会員たゞ一人の東京区議、51歳平田町出身

その土地に向代に渡って住み、家系ぐるみの地縁とその血縁をたよっての集票。それも千票、二千票となるとたとえ部外者がなんといおうとも当人の努力、魅力、政治力がないことには、時の流れつまりブームが比較的起きにくい地方議員選挙では、その地縁、血縁の少ない私達地方出身者いわゆる他所者はよほど強い支持母体がないとなかなか大都会の選挙区では当選はできない。

当会関係者で、今春の統一地方選挙にトライしたのは、現職議員一人、出馬幸い再選の栄冠をかちえた。

「とにかく、それまで二回も落選し続けたので、前回は、同情票が相当あったと思うんです。それに今回は、私の住む地域から二人も新人が立候補したので、まったくの苦戦。一時は絶望かと思ったこともありました」。

事実、開票の結果、前回は当選者五十二名中三十三番目、三千一百票であったが、今回は四十六位で二百票以上減った二千八百票であった。

「今回の票数でも私の価値以上と思って感謝しているんです」。と女性支持者に圧倒的に人気のある澄んだ目を輝やかせ謙虚に語るあたりが、アクの強い地方議員とは雲泥の差がある。

板橋区役所職員時代、議員を志ざし、二回トライして失敗前後八年にわたるいわゆる浪人時代が、人格を円満にしたともいわれる。

幸い三度目の選挙は当選し、一年生議員では異例な特別委員長に就任したのも、十五年間にわたる区役所職員時代の行政手腕が大いに認められたものであろう。二年生議員となった今回の当選では、これも異例の厚生児童委員会委員長となり、主に区の児童、老人、心障者行政にタッチすることになるが、当面は区内の下水道と都市ガスの完全実施というキメ細かいところから、特別委員長時代に関与した筑波大学跡地利用の厚生、文化、運動施設の実現を見守って行きたいとのことである。

「区職員時代の私を良く知る同僚、後輩が板橋区役所だけでなく都庁、二十三区の区役所関係に多くいるので、会員の皆様に法律、生活相談はもち論、それ以外でも是非ご利用頂きたい」とのこと。

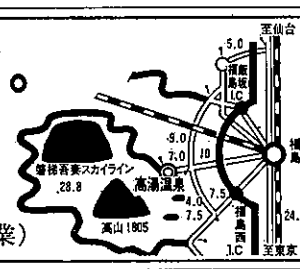
ぐっ近い将来、副議長、来期には議長職との呼び声もあるのだが当人は「区議会だけでなく、政治に道を求めた以上、上位の選挙にも立つ意欲は充分」という。

山形という、今や交通時間から考えると東京から最も遠い庄内地方から出て来た私達にとって是非活躍してもらいたい同窓の人材の一人である。大いに期待したい。

家族は、荘内美人の夫人英子さん（46）―松山町出身―と四人のお嬢さん、それに猫三匹。

呉竹　柚子甘
小松屋
酒田市日吉町一丁目
TEL 22―5151(代)
売店ご案内
酒田
●マリーン5店　☎(0234)24―5237
●Aコープさかた店　☎(0234)24―6627
鶴岡
●鶴岡店（きむら）　☎(0235)22―0580
東京
●有楽フードセンター　☎(03)561―6708

雄大な自然。北欧風のシャレたつくり。
磐梯朝日国立公園
福島県　高湯温泉　鳳舞山ペンション
代表　半田節彦（昭和35年卒業）
●亀城会会員特別サービス●総ヒノキづくり。大きな温泉風呂（硫黄泉―胃腸病、水虫、湿しん、神経痛、リュウマチに効用）●ゴルフ、スキーもできます。● 収容人員30名。家族連れ、団体様歓迎。中宴会も可。
☎(0245)91-1401
〒960-22 福島市高湯温泉36の7



いい家・いい家族　すずらん苑
本格的木造分譲住宅

ふるさとの心、わすれずに…
住んでみて「本当に良かった！」と
喜こばれる住まい造りを…
代表取締役　鈴木　藤男（昭和三十一年卒業生）
●すずらん苑は、自由建築をテーマとした個性豊かな住まいです。
▶県人の方には特別会員として、住宅建築及びご購入の際には特に優遇させていただきます。
首都圏及東上沿線、京浜東北沿線を主に、分譲住宅の設計から施工、販売そしてアフターサービスに至るまで一貫した独自のシステムとプロジェクトによる大型団地造りに取り組んでおります。今後共、尚一層のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。
●住まいのコンダクター　●東京都宅地建物取引業協会会員
株式会社鈴建工務店
●設計　施工　アフターサービス　株式会社スズケンホームサービス
■お問合せは ☎03 974●2805（代表）
●本社／東京都板橋区弥生町28-10（東武東上線・中板橋駅南口より徒歩1分）
●大宮支店／埼玉県大宮市吉敷町1-27-1第2開新社ビル ☎0485(42)1731(代)
●建設業登録（般56）第61065号　●建設大臣免許(13053)号　●都知事免許(422708)号

酒田中学―酒田東高の思い出

上野　伊栄太

昔一高の校長や文部大臣を勤めた哲学者、天野貞祐という人が「運命の道」という本の中で「人間の運命は作りながら作られて行く」と書いておられる。現在八十一才と二ケ月の人生を生きて来て、正にその言の通りであることをつくづくと感ずる。

新潟県で生まれ、広島で学び、新潟・長野・滋賀と各県で中学校の教壇に立ち、山形県は四十年特に酒田は三十六年の長きに亘って酒中・酒東の卒業生や父兄と深い係り合いの中で暮して吾れ人共に酒田は墳墓の地と信じて疑わなかった。

然るに、昭和五四年の七月末女婿中村恒也（酒中十五年卒、諏訪精工舎副社長・エプソン社長）と娘から諏訪への転住を勧められた。昭和五一七年と諏訪の近くに住み、酒田では娘が酒中の卒業生と結婚しており、長男は米国、二男は東京暮らしとすれば私の運命は正にかの哲学者のセオリー通りである。

滋賀県の中学校に勤務していた昭和十四年の師走の頃と思うが酒中の五十嵐善作校長から教頭として十五年四月に赴任するようにとの招請の手紙を頂いた。九年も勤めて愛着もあったが意を決して校長に転任の許可を求めた。然し何回頼んでも断られて三学期は終った。結局粘り勝ちで一学期末転任ということで許可が降りた。

酒田中学の第一日は八月の二十七日であったと記憶するが全校生徒の新鮮で頼もしそうな光景が今でもよみがえって来る。実は五十嵐校長からは手紙で学校に色々トラブルがあると言って来てあったので相当の覚悟で赴任したのであったが私の心配は杞憂に過ぎなかった。先生方も父兄も同窓会も実に協力的で、お互い愛情と理解があれば立派にやれると益々自信を深めた。

私が赴任前から計画を進めていたらしく、同窓会の寄付による酒中鳥海道場が完成して、九月か十月かはっきりしないが同窓会の幹部と一緒に道場開きに参列した。登山の経験のない方であったが初めての鳥海山と木の香も新しい道場の姿に清新な気分とこれから生徒の練成に使われることへの頼もしさを感じたことを今も思い出す。同窓会の各位とはこのようにして益々親密の度を加えた。

然し、一方では五十嵐校長排斥の気配を感ぜられて何故だろうかと気にかかった。それまで何人かの校長に仕えたが、五十嵐善作校長は名前の通り真っ正直な善人で悪く言えば多少融通の利かないことが原因ではなかったかと思う。私が仕えて半年後の十六年五月十五日をもって五十三才で退職された。

昭和十六年の五月、米沢中学校から後任として岩淵勝郎校長を迎えた。ちまたにはひそかに忍び寄る日本戦争の気配の感ぜられる頃であった。岩淵校長着任の日、らっぱ鼓隊を先頭に職員とテープル巻きの全校生徒駅前に整列して盛大に出迎えた。外国の本を読み英米人に接する機会の多かった私は米国の強大な力を身を持って感じていただけに十二月十六日朝の開戦のラジオにはただ愕然としたあの複雑な気分を今も忘れられない。

十七年五月三十一日宮内高女学校長に就任、日増しに苛烈を極め行く太平洋戦争に心を痛めつつ四力年を送り、終戦の翌二十一年四月酒田高女高校に転任、二十二年には酒中から新制度の酒田第一高校長に任ぜられた。ここでは夜間課程、昼間定時制のほかに松嶺分校を入れて四つの校務の重大責任を負うことになったが、幸いに健康に恵まれて少しも倦うむことを知らなかった。

二十五年四月、酒田第一と酒田第三高校（昔の中学校と女学校）が統合されて酒田高校となり前述の四課程の責任の上にも一つ肩の重荷が増えた。終戦後の混乱をもろに蒙った学校統合もわずか二年で解消、二十七年には、酒田東高校長に専任された。

酒中には教頭として約二年、校長としては三回も出入りして十七年御厄介になって三十八年満六十一才で退職したが顧りみて全力投球で悔いなき御奉公であったと思う。

先生方の協力は勿論生徒の学業、スポーツに対する真剣さ、その熱心には今も思い出して愉快な気分になるが、恐らく今も変っていないことと想像している。教員組合が出来た頃、色々な要求が出たが、私の生活は「何を措いても大切なのは生徒」ということで、これには組合も文句の言いようがなかった。近頃の公立中学校や高校の荒廃ぶりはかつての大学紛争と違って歯止めの利かない無反省の生徒には抜本根源の対策を施さない限り極限まで落ち込むと私は観察しているが、愛情、信頼、尊敬のないコミュニティは崩壊を免れない。

思い出は話せばいくらでもあるが、酒東の生徒と先生のあの交流をなつかしく思い出して、つい筆先きが中学校などの暴力振りへの非難に走ってしまった。

昭和三十五年十月四日、私は校長教育長世界教育視察団の一員として約五十日の旅行に出たが、その出発前、東京亀城会の皆さんから盛大な歓送会を開いて頂いたことがあった。古い卒業生も大分年を取られたと思うが元気でおすごしであろうか。酒東の為にも東京亀城会の益益の発展を祈って貴を果すこととする。（五八・六・二七記）

……

部時計の重役の奥さんでいらっしゃる娘さんの居られる長野県の諏訪湖畔に身を寄せられ、悠々自適の生活をなされているとの年賀状をいただきました。再び最上川と鳥海山を借景に宮野浦カントリーで是非もう一度一緒にラウンドさせていただきたいと思っております。仏像の中に愛染明王という仏がありますが明王の如く、厳しさの中に菩薩に似たやさしさと暖さを持たれた先生でした、どうぞ先生いつまでもお元気で、心からお祈り致します。（昭和三七年卒業）

御叙勲

◇六回白井十四雄氏（前日刊工業新聞社長、会長。現相談役）「科学技術の普及、啓発」の功労により勲三等旭日中綬章を授章。

御就任

◇一二回若林義治氏日本テレビ放送網株式会社常勤監査役（日本テレビサービス社長）

◇一六回越後谷悦郎氏東京工業大学名誉教授、千葉工業大学工学部教授（東工大教授）

◇二二回本間晋士氏、大陽実業㈱（大生相銀）

◇二三回山木修介氏、全国農協保証センター常理役（農林中金）

◇二九回佐藤英司氏東京消防庁野方署々長（東京消防庁庶務課長）

◇三五回後藤洋一氏産経旅行（山新観光）

御転居

◇二回佐藤昌祐氏（画家、碧騎会主宰者）〒一七七練馬区東大泉三ノ三〇ノ一四電話九二五一六二七二

◇三三回佐々木茂氏（出光興産）〒一九〇市原市辰巳台西三ノ一ノ十

◇三五回奥山綾安氏（広告代理店㈱米広社長）〒二〇六多摩市貝取一ノ二ノ五ノ二〇一電話〇四二三一七一三七五

◇三五回阿部七郎氏（エス・エス製薬）福島県双葉郡浪江町大字高瀬字西原五三ノ七電話〇二四〇三一四一六七一四

◇三五回梁谷英雄氏（㈱米雪子社長）千葉市汐見ケ丘町十番九号電話〇四七二一四八一〇六七五

◇本間物産東京支店（支店長斎藤昭一氏三十六回卒）東京都中央区日本橋小伝馬町十五ノ十八SKビル電話六三九一九七七一

◆御転居のお方は編集部までご連絡下さい。

あの先生は今……

厳しさとやさしさが……

熊谷　正義

昭和三十四年か三十五年に上野校長が当時としては珍らしい文部省の欧州教育視察の派遣の一員として通訳も兼ねられて訪欧され、その時のスライドをもとにして、全校生徒を前に体育館で報告会が行われ、上野流のあの独特の発音が非常にユニークに響き渡り、報告の内容よりもそのプロナウンスに心奪われたのは私一人でなかったようです。一つ例にとって「イートンカレージ」という言葉が先生流に発音すると「イートンカリッジ」（これを酒田風に発音）となるのです。このような発音が我々生徒にとって訳もわからずおかしく、皆声をかみ殺し笑いを必死に押さえて神妙な面持ちで聞いていたのですが、シーンと静まり返ってる中でとうとう誰れかがクスクスとやったからたまったものではありません。

突然ドカーンッ！とものすごい一撃「そこの生徒さっきから何がおかしいっ。立てっ！」。

一瞬シーンとなり皆んな自分が言われてるような状態だったので、誰れもが立たなければならない資格が充分、私は、名前のごとく正義の代表となり私一人がその矢面てにたてば事が無事治まると考え、立ちあがろうとしたのですが……その時秘かに心想いを寄せてる女生徒と目が合ってしまったのです。十七～十八才の青春の真只中にいた私はその女生徒の目の前では正義の代表どころか板にくっついた蒲鉾のごとくとうとうを向いて体育館のフロアにへばりつきあの時サッと立ち上がっていれば、彼女の目には頼しい男性と映り私の人生もここで変わってたかも知れないと懐かしい一コマとなりました。それにしても怖い怖い校長先生でした。

それから数年後、上野校長が退職されたということを聞いておりましたが又ヒョンな事から怖い思いをしてしまいました。大学時代正月休みの為帰省中の事です。兄が酒田市内で車の接触事故を起してしまったと青い顔をして家に帰って来ました。

「雲の為、蟻の中でスリップしてしまいブッツケてしまった、弁償しなければ……」ととり出した名刺には「上野伊栄太」それを見て兄以上に慌てた私は自分が事故を起したような気になりオロオロドキドキ。決死の覚悟で兄の代理として挨拶代りの菓子折を小脇に抱えてイザ……着いたところは旧酒田教会の自宅、丁度奥様がお出になられて一安心。ドッと汗が流れ落ちました。唯々釈明のみ無論、酒田東高出身であることを強調しっぱなしその効があってかとうとう請求書は送られて来ませんでした、相当修理代がかかったはずですが……。

それから十七～十八年後、毎年お盆の帰省の時にはオンボロ車のトランクに、家族の荷物そっちのけで優先的にピカピカのゴルフセットを積み込んで、毎日宮野浦カントリー通いが恒例になっており、そこで上野校長と偶然出合い一緒にラウンドをさせていただくこととなりそれが御縁でその後も何度か御一緒させて頂きました。とても元気でゴルフが唯一の楽しみとか、腕の方も大変な飛ばし屋でグリーン廻りのテクニックは流石……。ただ多少先生は耳が遠い為ゴルフ場ではマナーに反して会話が遂々大声になってしまいラウンドを終ると足腰よりも声が枯れてしまうという珍結果となってしまうのであります。

しかし上野校長も三年程前に服敬の念を表されて三学期は終った。結局粘り勝ちで一学期末転任ということで許可が降りた。

酒田中学の第一日は八月の二十七日であったと記憶するが全校生徒の新鮮で頼もしそうな光景が今でもよみがえって来る。実は五十嵐校長からは手紙で学校に色々トラブルがあると言って来てあったので相当の覚悟で赴任したのであったが私の心配は杞憂に過ぎなかった。先生方も父兄も同窓会も実に協力的で、お互い愛情と理解があれば立派にやれると益々自信を深めた。

私が赴任前から計画を進めていたらしく、同窓会の寄付による酒中鳥海道場が完成して、九月か十月かはっきりしないが同窓会の幹部と一緒に道場開きに参列した。登山の経験のない方であったが初めての鳥海山と木の香も新しい道場の姿に清新な気分とこれから生徒の練成に使われることへの頼もしさを感じたことを今も思い出す。同窓会の各位とはこのようにして益々親密の度を加えた。

然し、一方では五十嵐校長排斥の気配を感ぜられて何故だろうかと気にかかった。それまで何人かの校長に仕えたが、五十嵐善作校長は名前の通り真っ正直な善人で悪く言えば多少融通の利かないことが原因ではなかったかと思う。私が仕えて半年後の十六年五月十五日をもって五十三才で退職された。

昭和十六年の五月、米沢中学校から後任として岩淵勝郎校長を迎えた。ちまたにはひそかに忍び寄る日本戦争の気配の感ぜられる頃であった。岩淵校長着任の日、らっぱ鼓隊を先頭に職員とテープル巻きの全校生徒駅前に整列して盛大に出迎えた。外国の本を読み英米人に接する機会の多かった私は米国の強大な力を身を持って感じていただけに十二月十六日朝の開戦のラジオにはただ愕然としたあの複雑な気分を今も忘れられない。

十七年五月三十一日宮内高女学校長に就任、日増しに苛烈を極め行く太平洋戦争に心を痛めつつ四力年を送り、終戦の翌二十一年四月酒田高女高校に転任、二十二年には酒中から新制度の酒田第一高校長に任ぜられた。ここでは夜間課程、昼間定時制のほかに松嶺分校を入れて四つの校務の重大責任を負うことになったが、幸いに健康に恵まれて少しも倦うむことを知らなかった。

二十五年四月、酒田第一と酒田第三高校（昔の中学校と女学校）が統合されて酒田高校となり前述の四課程の責任の上にも一つ肩の重荷が増えた。終戦後の混乱をもろに蒙った学校統合もわずか二年で解消、二十七年には、酒田東高校長に専任された。

酒中には教頭として約二年、校

酒田と鶴岡

梅津　正吉

竹久夢二は、大正十年頃、秋田の女性と所帯を持つため、酒田に立寄った。そして言葉のやさしさや顔だちに強烈な印象を受けたとの事で、彼の傑作「春待つ女」は、酒田の女性を描いたものと、いわれています。

庄内美人とは、日本海側一帯の美人をこう呼ぶのであるが、同じ庄内でも、鶴岡と、酒田では、美人の顔形が違うといわれるのです。

酒田は秋田に近いので、一般的に面長であるが、鶴岡の方は新潟美人の様に、どちらかというと、丸顔に近いとのことです。

ここで酒田鶴岡というのは、飽海地方と田川地方という意味ですが、この二つの地域は、最上川によって南北に分けられているのです。

そして酒田は港町として栄え、関西方面との交易の結果、文化の吸収も早かったのではなかろうか。

一方鶴岡の方は、酒井の殿様になる前から戦の場となり、支配階級の拠点として、位置づけられた為に、地元民も封建的に、保守的に馴らされて来たように思うのです。

だから酒田の人は解放的で、文化的な、一寸おしゃれな様な所があり、鶴岡は一見、地味で保守的な様ですが、そのくせ見栄坊で、又他人事のせんさく好きの傾向があるのも昔の時代の名残かも知れません。

大川周明博士は、昭和十七年に「荘内風土記」の序文に、両市の事を次の様に言って居ります。

「予は酒田に近い農村に生れ、鶴岡の中学に学んだので、少年時代は否応なく両者の空気を呼吸して育った。而して両者とも決して六年の単純無垢なる心に快き印象を与えなかった。

酒田の快活は予を、よろこばしめたけれど、その軽佻浮薄をにくんだ。鶴岡の重厚は気に入ったけれど、その独善陰うつを、厭った。」そして「後に清川八郎伝の筆を執り初めるの及んで、荘内に対する関心が俄然として昂潮し……前に無頓着なりしだけ却って強く心を惹くに至った。」とのことである。

然し最近になっては、戦後の農地改革や民主教育によって、郷土色や地方色というものは払拭されて、此頃の住宅や、街並を見る通り、どこまで行っても、同じ形の建物となった様に、人間の気質も全く特色を失ってしまった様な気がします。

それでも、いまだに両市で変らないものは、酒田祭と大山祭（鶴岡市）でせう。酒田は猿祭で、大山は犬祭だそうですが「犬猿もただならざるに又孕み」という川柳の様に、仲よくやって行くことですのう。（五八・七・二〇）

（東京鶴翔会―荘内中学、鶴岡中学、鶴岡南高同窓会東京支部―会長、梅津正吉事務所代表）

古書の御整理は信頼のおける当店へお気軽に御連絡下さい。
●国語、国文、歴史、哲学、文科系全般、和本、錦絵……
五十嵐書店
五十嵐　智
(昭和28年卒業)
〒160 新宿区西早稲田3―20―1
電話 292-8201・208-2697(夜間・休日)

西上尾上林眼科
院長 上林　茂
(昭和27年卒業)
病院：埼玉県上尾市小泉8―44
電話 0487(81)0290
自宅：埼玉県上尾市小泉379-14

朝日産業株式会社
代表取締役 村上義八郎
(昭和24年卒業)
北区田端新田1―2―15高垣ビル402
電話 893―6307

【営業品目】
ガルフシール製造、販売、施工
(プレハブ式アスファルト防水工法)
ゴルフ場歩径路ホソーパン製造販売
一般建設工事請負及び建設資材販売
ガルフシール工業株式会社
代表取締役社長 藤井重信
(昭和11年卒業)
本社 東京都目黒区三田2―10―15
TEL (03) 710―0101
工場 埼玉県熊谷市大字佐谷田2976
営業所 大阪市浪速区敷津西2-1-5-201

●自慢のモツ焼き、宴会承ります。
大衆酒場
与作
店主・小野国雄
(39年卒業)
葛飾区東立石3―26―8 TEL.695―1406

光と影の調和を追求する商品写真
And Photography
代表 本宮正幸
(昭和36年卒業)
築地スタジオ
〒104東京都中央区築地2・14・4三松フェニックス第2東銀座ビル201
Phone 545-9320
新富スタジオ
〒104東京都中央区新富2・12・6新幸ビル1F
Phone 553-0620

●販売促進の企画立案からパンフレット、印刷物の制作、マス媒体まで
株式会社 栄広
代表取締役 奥山紘史
(昭和35年卒業)
〒151 渋谷区代々木2-22-23(宝園ビル3F)
電話 375―3161(代表)

真坂歯科医院
目黒区自由ケ丘1―8―20
(自由ケ丘駅南口前)
電話 718―8470
京町歯科医院
川崎市川崎区京町1―17―1
電話 044(355)0109
歯学博士 院長 真坂信夫
(昭和33年卒業)

好結果の本年進学状況

知野　弘

今春の大学入試では、前年度とほぼ同様好結果を得た。国公立大の合格数は現役生のみで一一四名、現役、浪人を合わせると一六三名である。ちなみに共通一次が始まって以来、本校では毎年現役生のみで一〇〇名を越えている。

めだった傾向としては、東北大・弘前大が減り、北大・新潟大・東京学芸大・横浜国大が増えている。東大は四名受験したが、合格者一名であった。山大は四六名と相変わらず多いが、それでも県内の他の進学校に来べると、少ない。教育系志望者をはじめ、広く全国的に散らばって行く。これは隣の鶴岡南高でも同様である。

また、国立大と高崎経済大、都留文科大とのかけ持ち合格が今年は多く、この二つの公立大は、国立大のすべり止めの役割を果たした。

教育学部の受験者、合格者が共に増加し、女子の進出が著しい。女子では、比較的希望の多い医療技術短大、私立短大の合格率が低下し、その分だけ各種、専門学校への進学が増えた。

最近の生徒は、長男、長女がほとんどであるため、大学を出てから地元就職の希望が多い。しかし、受け入れる企業が少ないことが隘路である。また教員、公務員を希望する生徒も多いが、こちらは採用試験が難関となっている。

共通一次の結果を見て、国立合格の可能性を判断することが容易となったため、国立専願の生徒が増えつつある。一方、私大も難化が進んだため、早い時期に私大受験に切り替える傾向もある。従って以前と比べ、国公立と、私大との併願受験は減少している。

大体以上の通りであるが、学校では既に来年度の受験に向けて、生徒、父兄、職員一丸となって取り組んでいる状況である。

（酒東教諭）

大学合格状況（過年度卒を含む延数）

（　）内は過年度卒合格数

	今年度	昨年度
〔国立大〕		
北海道大	6（1）	2
北海道教育大	2	2
弘前大	3	6（3）
岩手大	2（1）	2
東北大	6（1）	12（2）
宮城教育大	2（2）	2
秋田大	1	1（1）
山形大	46（10）	48（15）
茨城大	4（2）	5
筑波大	2	2
宇都宮大	1	1
埼玉大	1	1（1）
千葉大	7	7
〔公立大〕		
高崎経済大	11（2）	3（1）
東京都立大	1	
横浜市立大	2（1）	1
都留文科大	19（7）	8（4）
〔文部省所管外〕		
職業訓練大学校	1	
海上保安大学校	1	
〔私立大〕		
青山学院大	5（1）	8（2）
学習院大	1（1）	
慶応義塾大	4（4）	3（1）
国学院	2（2）	1
上智大	1（1）	1（1）
中央大	13（5）	11（6）

	今年度	昨年度
東京大	1	2（1）
東京外語大	1	3（1）
東京学芸大	8（4）	2
電気通信大	1	
横浜国立大	4（1）	2
新潟大	22（4）	16（1）
金沢大	2	3
信州大	1	1
上越教育大	1	
富山大	1	1
その他国立大		11（3）
国立大学計	126（27）	132（28）
愛知県立大	1（1）	
京都府医大	1（1）	
その他公立大		2（1）
公立大学計	35（12）	14（6）
国公立大学等計	163（39）	146（34）
東洋大	6（5）	5
東京理科大	5（1）	13
日本大	12（7）	16（4）
法政大	7（2）	7（1）
明治大	12（6）	11（6）
立教大	5（1）	1
早稲田大	5（2）	9（4）
同志社大	1（1）	
立命館大	3	3（1）
私立大学計	167（76）	190（51）

五八年県高校総合体育会結果

◇男子弓道
団体　第二位
◇女子弓道
団体　予選通過せず
◇体操
団体総合　第二位
（十年連続二十七回目優勝）
◇男子バレー
一回戦　酒田東　2－0　長井高
二回戦　山形南　2－0　酒田東
◇女子バレー
一回戦　山形商　2－0　酒田東
◇柔道
団体　第三位
◇男子剣道
団体　第二位
◇女子剣道
団体　第一位
◇陸上競技
一〇〇MH　堀本　靖　第四位
四〇〇MH　堀本　靖　第六位
走幅跳　石川富治　第二位
砲丸投　横山りか　第四位
一六〇〇Mリレー　第六位
◇男子庭球
団体　二回戦敗退
◇女子庭球
団体　三回戦敗退
◇卓球
団体　二回戦敗退
◇男子バスケット
三回戦　温海　59－54　酒田東
◇女子バスケット
二回戦　寒河江　63－49　酒田東

東京亀城会各年度連絡者氏名

回数、氏名、住所、電話の順になっておりカッコ内は旧姓名、敬称は省略させて頂きました。記載のない回は事務局まで至急ご連絡お願いします。

▽一回（大正十四年三月卒業）＝斉藤芳夫、目黒区自由ヶ丘一ノ一七ノ二三、電七一七一六七〇一

▽二回＝小松直幸、荒川区東日暮里三ノ二九ノ二二、電八九一一五四一天

▽三回＝根津喜太郎、目黒区五本木一ノ九ノ三四、電七二三一八〇三二

▽四回＝高橋広記、練馬区豊玉北二ノ一四ルネ豊玉三〇三号、電九九四一七七八五

▽五回＝竹内六郎、川崎市中原区井田一四三二、電〇四四一七七一五八三七

▽六回＝加藤文吉、千代田区九段北三ノ二一二四、電一天一一八九七〇

▽七回＝菅原藤也、世田谷区代沢四一二〇一一七、電四二二一五〇五五

▽八回＝大山雄司（正三）、渋谷区千駄ヶ谷一一三一一〇、電四〇八一三九五五

▽九回＝河村竜郎、横浜市緑区荏田町四六三一四、電〇四五一九一一八八八一

▽一〇回＝若林邦三、大田区下丸子四一六一一三、電七五〇一六八八五

▽一一回（昭和一〇年三月卒業）＝乙坂進、世田谷区砧三ノ一〇一三一、電四一六一六一〇三

▽一二回＝藤井重信、目黒区三田二ノ一〇一一五一一〇一、電七二一六四五一

▽一三回＝佐藤昌祐、練馬区東大泉二三三〇一一四、電九一五一六二七二

▽一四回＝本間修士、大田区西蒲田三ノ二一四、電七五三一六九六〇

▽一五回＝内山敬司、世田谷区中町三ノ一四一六、電七〇一一五一〇二

▽一六回＝庄司悌二、練馬区大泉学園町二ノ一一九、電九一三一五四七四

▽一七回＝中村哲夫、世田谷区中町一一五一九、電七〇二一一四〇〇

▽一八回＝佐藤弘一、北区上十条五一六一一四、電九〇〇一六七七七

▽一九回

▽二〇回＝北村総一、世田谷区桜丘三ノ三七一一一、電四一二九一一四七三

▽二一回（昭和二〇年三月卒業）＝鈴木友也、大田区南千束二ノ一八一一五、電七二〇一六九一九

▽二二回（昭和二〇年三月卒業）＝斉藤昭二、北区赤羽台一ノ二住宅公団五一一〇六、電九〇九一三三〇九

▽二三回＝中条立一、柏市豊四季団地七六一一〇五、電〇四七一一四六一九三九七

▽二四回＝村上義八郎（昭）、北区田端新町一ノ一一五一四〇二、電八九二一六三〇七

▽二五回＝菅原敏雄、流山市若葉台四五三一一六、電〇四七一一五三一〇三六九

▽二六回＝青山修、千代田区四番町八、四番町住宅三〇一一一〇、電二六三一九六五六

▽二七回＝兵藤立美、世田谷区等々力五一一九一四、電七〇一一六一五四

▽二八回＝土田喜彦、中野区新井五一二八一九、電三八七一四七三三

▽二九回＝本間充、文京区湯島二一三一五、電八三一一八四一一

▽三〇回＝堀広士、柏市西山一ノ二一九、電〇四七一一七四一二一七八

▽三一回（昭和三一年三月卒業）＝小野徳次郎、鎌倉市今泉一ノ二九一一五、電〇四六七一四五一四九一〇

▽三二回＝佐藤肇太郎、流山市美田六九一三一、電〇四七一一五四一九八一三

▽三三回＝鈴木義宏、市川市中国分二ノ六一二六、電〇四七三一七一ノ七一九五

▽三四回＝鈴木明人、松戸市小金原一ノ一一二、電〇四七三一四一三四七八六

▽三五回＝奥山紘史、多摩市貝取二ノ二一五一一〇二、電〇四二三一七一一三七五八

▽三六回＝斉藤昭一、本間物産東京支店電六三九一九七七一一、自宅電〇四七五一七一一四五一一

▽三七回＝熊谷正義、台東区根岸三ノ一三一六、電八七五一三〇一六

▽三八回＝三浦光紀、港区麻布十番一ノ八ノ一三一六〇一、電四五六一一四五三

▽三九回＝佐藤巍昭、江東区南砂二ノ三一八一〇、電六四九一八七五四

▽四〇回＝菅原弘、練馬区下石神井四一二一一四、電九九六一九五六七

▽四一回（昭和四一年三月卒業）＝阿部和之、中野区江古田一ノ三一一〇水道局公舎一一一〇一、電九五三一六三九七

▽四二回山木（佐藤）雅徳、葛飾区立石六一一一八一一〇三、電六九五一一九八五

▽四三回

▽四四回＝門崎敬一、世田谷区南烏山六一三〇一一九一四〇四、電三〇〇一三三一七

▽四五回

▽四六回＝秋山晋剛、葛飾区高砂七一一三一一住吉荘二〇一、勤務先葛飾区役所

▽四七回＝阿曽徹、町田市木曽町二三四一一堺川住宅一三一四〇一、電〇四一七一九一一五九二二

▽四八回▽四九回

▽五〇回＝佐藤真澄、荒川区荒川四一二一五かたばみ荘一号、電八〇六一〇五一九

山形食文化の店
瀬川
瀬川　扶實子（余目出身）
電話
2F　瀬川
B1　アティック
エイティエイト
03（588）0575
03（584）1388
港区赤坂4-2-5（一ツ木通り）ヤブタビル
●地下鉄赤坂見附駅より徒歩2分

鳥海おろし

▼杉山さんは、十五回卒業生で酒田市宮ノ浦小学校々長であった

▼エアロビクス、ジャズ・ダンスと世は、シェープ・アップ目的のダンスブーム。女性会員や会員の奥様やお嬢様、亀城会四十四回卒業の杉山由美さん＝写真＝と一緒に踊りませんか…。

▼彼女のダンスは心で表わしたものを体の動きで見せるというのが特色。クリアティブ・ダンス・ラボラトリーを主宰としてこの普及と研修に全力投球。このダンスの効果は、身のこなしが美しさと若さを保つことにあるという。

▼レッスンは毎週一回土曜日午後一時半から、京王線笹塚駅前京王重機ビル二階の東京アートセンターで、電話四六〇一三四〇四、連絡先は、調布市の自宅（杉山方）電話（〇四二四）八三一八八一七。

故芳雄氏のお嬢さん。酒田東高在学中から体操に興味を持ち、宮城教育大学に入学。二年生在学中故江口隆哉氏にひかれて、お茶ノ水大学に二年国内留学。宮城教育大卒業後はお茶大大学院に入学修士号を持つ舞踊家。現在聖心女子大学と日本大学で講座を持っている。

郷土料理
おばあ
大内きく（酒田市出身）
中央区銀座一－四－一〇（大内ビル）
電話（五六一）六三四一・六四六六

酒王
初孫
山形が誇る
米と酒
花のやまがた
東京専売店　酒類販賣　花山
台東区台東2丁目27番9号（毛塚ビル）壱階
電話 836-0805

丸藤宏事務所
司法書士　丸藤　宏（昭和40年卒業）
千代田区三崎町2-2-13　三崎信愛ビル
電話　261－8040
丸藤晋建築設計室
丸藤　晋（昭和46年卒業）
渋谷区渋谷3－5－3
渋谷グランドハイツ1106
電話　486－0865

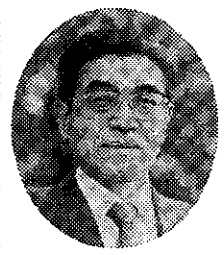
税理士　飯野　紘（昭和34年卒業）
千代田区麹町4－3
電話　261－0691
司法書士　飯野　淳（昭和37年卒業）
千代田区麹町4－3
電話　234－1369

相馬法律事務所
主任弁護士　相馬　功（昭和31年卒業）
事務所：港区虎ノ門1-5-16　脇坂ビル
電話　591－4166
自宅：狛江市西野川2－18－18
電話　480－5726

今井隆雄法律事務所
弁護士　今井隆雄（昭和24年卒業）
事務所　港区浜松町1－11－11康進会館
電話　433－0971
自宅　文京区西片1－15－19－1004
電話　815－8754

東京亀城会の皆様へ

酒田東高教頭　五十嵐千秋



東京亀城会の皆様へ謹んでご挨拶申し上げます。再び酒東に勤務することになりまして三年目となりましたが、皆様の母校へのご支援と期待、そして地域社会での本校教育の果たすべき役割を思うとき、感謝の念とともに身の引き締まるものがあります。

昭和四十九年、近代的校舎に姿を変えた酒東ですが、その屋上に立ちますと、部活動に汗を流す若者たちの元気な姿と、町並みのかなたには雄大な鳥海山と最上川を一望することができます。この壮大な景観は酒東に学ぶ若者たちに次の世代を背負って立つ気概を与え、城址としての姿をとどめる櫻の大樹は伝統の深さと、ここに学ぶことのできた誇りと自信を育ててくれているものと思います。

創立以来、「地味に、真面目に」「文武両道」を求めよ、との校是は、現在も確実に受け継がれ、「勉学に」「部活動」に懸命に精進する若者たちで学校は活気にあふれております。進学はもちろん部活動でも、一つの成果をあげるには厳しい精進と自己抑制が求められますが、十代後半の時期に、両者を同時に求めさせ、厳しく修練させることこそ、若者を大きく育てるためには何物にも替えられないものとの信念にたち、校長以下全職員が一体となって指導にあたっております。

お陰様で、一応の成果をあげつつあるとも思いますが、先輩の皆様の一段の飛躍への期待を思えば、一層の努力をしなければならないものと全職員一同自覚しているところであります。

創立六十周年事業にはじまる、亀城園・新柔剣道場・テニスコート・ギャラリー・冬期走路の完成は、本校の施設設備を一段と充実させることができました。これもひとえに先輩の皆様のお力ぞえによるものであります。

毎年、十一月八日の創立記念日には、大先輩による記念講演、酒東六十年の歩み展〃栄光章の授与を行い、伝統の自覚と本校六十年の歴史を知り、愛校心を高揚することにしていますが、資質に恵まれた若者たちに、深く将来の進路を考えさせ、切磋琢磨し合う集団として育てる上で、先輩の皆様のご活躍がいかに大きな動機づけとなるかを痛感しているところであります。先輩の皆様のいっそうのご活躍を祈念する次第であります。

本校教育の第一の使命は、学力を充実させ、志望進路を達成させることであり、気力、体力を充実させ、忍耐心のある、社会のために大きく役立つ人間を育成するところにあります。

今後も同窓会の皆様のご協力をいただき、酒田東高等学校の名声をますます高いものにしていきたいと念じております。母校へのいっそうのご支援をお願いいたします。

（二四回卒業）

郷土色豊かな総会を企画

―同窓生なら夫婦そろって参会を―

本年度総会、懇親会を左記により実施いたします。

同級生、お知り合いの同窓生の皆様とお誘い合せの上ご出席ください。

東京亀城会々長　河村竜郎
五十八年度総会執行委員長　大山雄司

―記―

日時　一〇月二八日（金）午後六時より

会場　新宿サンエービル一五階
新宿区西新宿一―二二―二
電話　三四二―三六六八

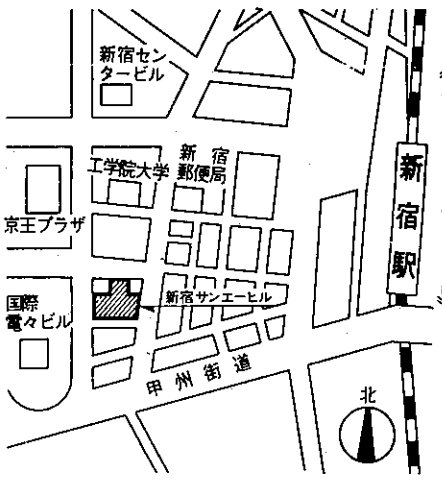
懇親会費　四、〇〇〇円（但し女性会員、五〇年以降卒業生は三、〇〇〇円）

年会費　一、〇〇〇円

総会議題　①会務報告②会計報告

会場は昨年と同じく、第四回卒業生菅原喜代治氏管理のサンエービルの会議室を使わせて頂きます。昨年度の懇親会で好評でした玉コンニャクのしょうゆ煮、エゴ、胡麻豆腐（酒田市杉原食品提供）八つ目煮物などの料理に、初孫（東北銘醸提供）亀粟（小野屋提供）の地酒、お土産には銘菓呉竹、柚子甘（小松屋提供）をお持ち帰り頂き喜ぶことはばしましたが、今年もこれら以外にも趣向を考えたいと思っています。なお、本年の熱行当番回は末尾八の付く回、八、十八、二八、三八回です。

《会場ご案内図》



最近の酒田東高校舎正面玄関

酒田のおしんブーム

NHK連続テレビ小説「おしん」の舞台となったため、酒田は全国にその名が知られたが、そのブームにあやかろうと、このほど旅行代理店が、一泊三百の観光旅行のパックを売り出した。

銀山温泉、最上川舟下り、酒田市内の日和山公園、日枝神社、山居倉庫など、おしんの足跡をたどるという趣向だというが、今までのNHK連続テレビ小説に登場した都市は、一年以上観光客でにぎわうというから、酒田も一大観光地になれそう……。

地元では、それに備えて酒田駅前には、費用一〇〇万円でおしんの等身大の像ができた。連日、観光客が記念写真を撮っている。ただ、顔がおしんのイメージと違うと、市民の評判がよくないので、近々顔の部分だけを取り替えるとか……。

一方便乗商品も続々と誕生、和菓子「おしんの雪」原酒「おしん」、すでにブームになっているのが「おしんこけし」で、おかっぱ頭に大きな目の小林綾子のイメージが受けてか製造が間に合わないほどとか……。

庄内空港予定地の風雪調査は就航限度内

新幹線からも、高速自動車道からも見放された庄内地方に〃空港だけは〃の悲願も、山形県予算で七、二六〇万円の調査費がつき、一応の前向き姿勢が示された。

それに、五十八年一月の気象調査では、一番心配された風雪も、横風十三ノットを越えなかった観測時が九十九％、二十ノットを越えなかった観測時が一〇〇％と、小型ジェット旅客機の就航可能横風限度の範囲内と調査された。

この調査は、もう二年間行なわれるが、一応、気象条件はパスできそうと関係者を喜ばせた。

生れ変る日和山

戦前、戦後まもなく、在学したものにとって、日和山グランドは対酒商野球定期戦など、若い血を燃やした思い出の地であるが、このほど酒田市から整備計画が発表され、近代的な公園になる。

市の案によると(1)サーカスや子供まつり、たこあげに使う芝生広場(2)約一千平方メートルのあひる池を作り降水量の調整池の役目をかねる。(3)「歴史の散歩道」を作り酒田にゆかりの句碑や史跡を道のそばに設置する、などの施設をもうけることなど。

大火以後、さま変りした酒田の市街だが、また一つ思い出の地が消えるわけである。

昭和57年度会計報告書

（56年11月～57年10月）

57年10月30日現在

収入		支出	
○前年度繰越金（年会費を含む）	160,800	○通信・印刷費	97,150
○借入金	24,000	○慶弔費	25,915
		○会議費	48,635
		○交通費	4,360
○収入総計	184,800	支出総計	176,060

収入　支出　残金　差引残高
184,800―176,060＝8,740　8,740

注　年会費の納入によって会の運営が成り立っておりますのでよろしくご協力をお願いいたします。

五十回同期会

七月二日、五十回卒業生の同期会が東京神田の「グランド酒蔵」で開かれた。村上伸氏の歯科医師国家試験合格祝いの名目での初同期会。出席者は三十名で、約四時間にわたる大宴会となり、卒業以来八年の空白を吹き飛ばし、旧知との再会を喜びあった。最後に今後定期的会合と名簿の充実を約束、校歌〃最上の流れ〃を合唱、再会を約して散会した。

（五十回同期会連絡は、荒川区荒川四ノ二二ノ五佐藤真澄氏へ　電話（〇三）八〇六―〇五一九）

高校野球夏の大会

三回戦
酒田東　2―4　東海大山形

編集後記

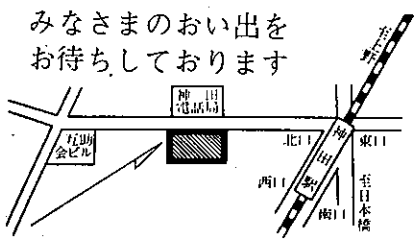
会報の原稿締め切りが終り、紙面整理が一段落付いた時平田前母校々長の突然の訃報が入って来た。そのため不手際な紙面となりましたことをご了承ください。名校長との呼び声のあった平田先生のご逝去謹んでお悔み申し上げます。

さて、酒田地方は私達が思う以上に景気が悪く深刻であることは池田敦一郎氏の報告を読めばお判りのことと思います。中央で活躍している会員の情報とセンスを注入することが酒田再建に大いに役立つのではないかと考えている昨今です。

そのため当会報は郷里と東京を結ぶパイプ役としてもっと密接に機能して行くべきであり、東京、酒田にかぎらず会員の皆様には会報と事務局を最大限活用してもらいたいものと痛感しております。

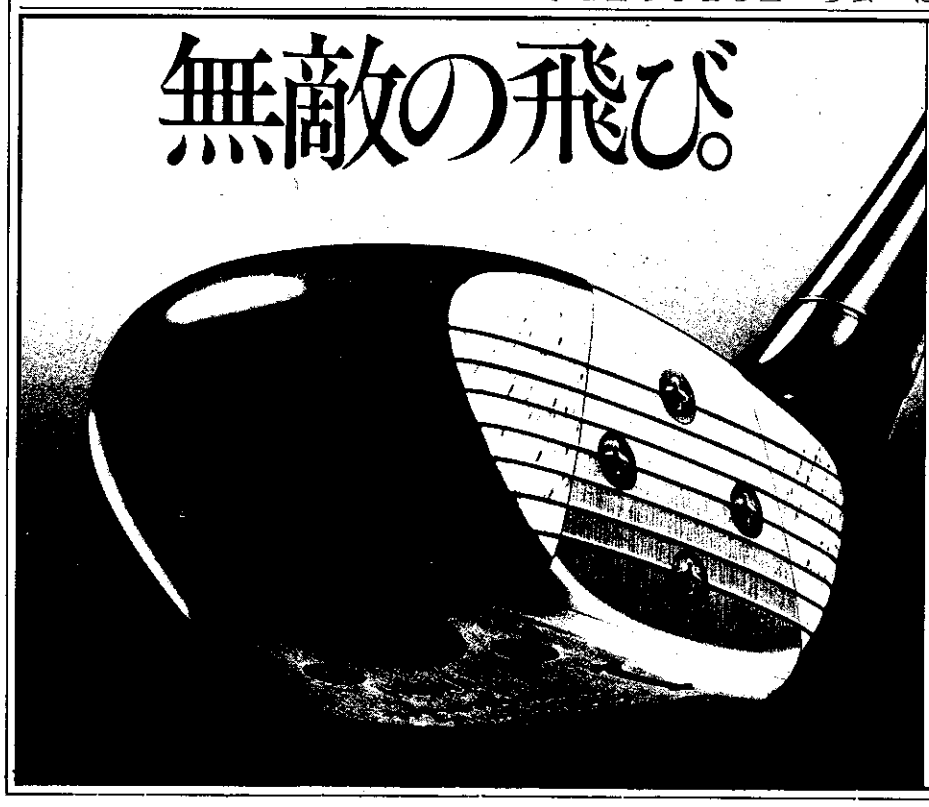
そのため年一回だけでなく、三回程度の発行が必要になってくるのではないでしょうか、今回は在京二千人の会員に郵送いたしましたが、お読みになった方は、この会報の存在をお知りあいの同窓生に広めて頂くとともに身近かな情報、提言、消息等をどしどし事務局にお知らせください。

（佐藤順場）

ふるさとの銀行
みなさまのおい出を
お待ちしております


荘内銀行　東京支店
千代田区内神田2―16―9
（神田駅北口より歩いて3分）
TEL　256―8911

ふれあい大切
わしあせを育てよう！
山形相互銀行
東京支店
新宿区西新宿7―21―1
電話　365―1131(代)

無敵の飛び。

横浜市鶴見区尻手1丁目4番4号　TEL(045)581-6394　勝負のかけにホンマあり
本間ゴルフ
HONMA
ツーピースボール用プランサー。
感触のパーシモンと、注目のメタルフェイスが、プランサーで一つになった。
良く飛ぶボール、と話題のツーピースボール、この飛距離をさらに伸ばす、ツーピースボール用ウッドを開発しました。メタルウッドではなく、カーボンウッドでもない。ホンマ独自の、パーシモンヘッドに特殊メタルフェイスを装着した、「プランサー」です。パーシモンの比類なき感触をいかし、驚異の飛距離を実現したプランサー。すでに数多くのトーナメントプロが使い出し、早くも勝利のかちどきをあげています。(Tプロの試打では、スチールシャフトのファイバーフェイスで糸巻きボールを打ったのと、バイオレットシャフトプランサーでツーピースボールを打った差は24mでした。)
※富士カントリークラブの当社実験値
※プランサーはハードヒッター用から、中距離ヒッター用、女性用まで、腕に合わせてお選び頂けます。※本間ウッド製品は、本場の本物、「北米産パーシモン」を100%使用しております。
ヒロ・ホンマ プランサー（鋼サイドソール）｜ヒロ・ホンマ プランサー　エキストラ90° プランサー　｜スーパーエキストラ プランサー